

石川県こころの健康センター所報

第 41 号

(平成30年度実績)

石川県こころの健康センター

— 2019 —

目 次

I こころの健康センター概要

1 沿 革	1
2 施設の概況	3
3 組織・機構	4
4 業 務	6

II 平成30年度こころの健康センターの活動概要

1 庶務課業務	
(1) 精神障害者保健福祉手帳の交付	8
(2) 自立支援医療費（精神通院医療）支給認定	9
(3) 精神医療審査会	11
2 相談課業務	
(1) 技術指導及び技術援助	13
(2) 教育研修	15
(3) 普及啓発	18
(4) 精神保健福祉相談	21
(5) 組織育成	29
(6) 調査研究等	32
(7) ひきこもり社会参加復帰支援事業	33
(8) 依存症関連問題指導事業	37
(9) ドメスティック・バイオレンス抑止男性支援事業	40
(10) 自殺予防対策推進事業	41
(11) 子どもの心のケア推進事業	47
(12) 精神障害者地域生活支援事業	54
3 支援課（発達障害支援センター）業務	
(1) 発達障害児（者）及び家族等に対する相談支援・発達支援・就労支援	55
(2) 精神科医による相談事業	58
(3) 青年期グループ活動	59
(4) 就労者グループ活動	59
(5) 親のつどい	59
(6) 関係機関等との調整会議	59

(7) 機関コンサルテーション	60
(8) 個別支援のための調整会議	61
(9) 普及啓発及び研修	62

Ⅲ 資 料

1 精神保健福祉相談状況（電話・来所・訪問）	68
2 普及啓発活動	72
3 関係機関・団体との連携	74
4 集団活動	76
5 こころの健康センター貸出しビデオ・DVD一覧	77

I こころの健康センター概要

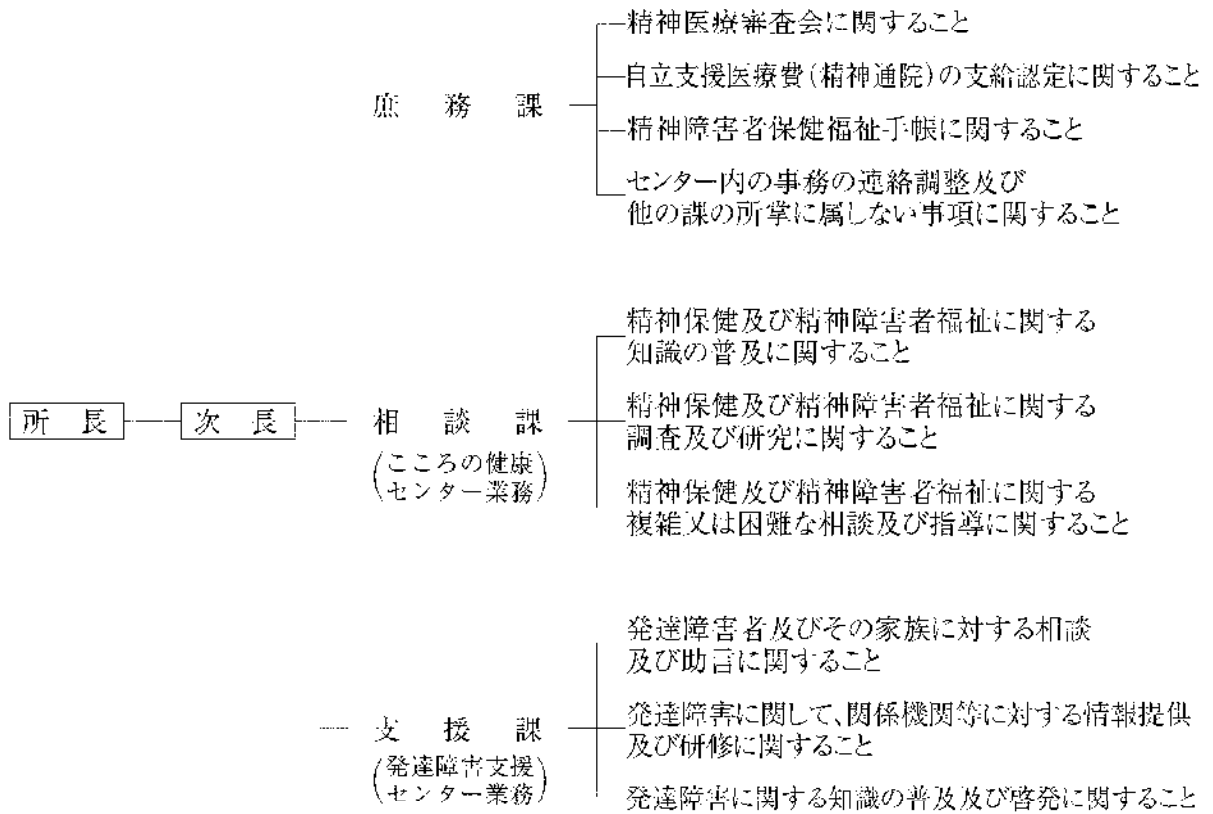
1 沿革

- 昭和 41 年 10 月 石川県社会福祉会館内に石川県精神衛生センターが開設される。
- 昭和 56 年 11 月 金沢市南新保町ル 3-1（現在地）に新築移転する。
- 12 月 デイ・ケア事業（～平成 25 年度）、乳幼児発達相談事業（～平成 8 年度）を開始する。
- 昭和 57 年 4 月 特定相談指導事業（アルコール関連問題、思春期精神保健に関する相談指導等）を開始する。
- 昭和 58 年 4 月 親子通所センターが石川県中央児童相談所より移管される。
同時に庶務課、相談課、訓練課の課制が施行される。
- 昭和 61 年 4 月 心の健康づくり推進事業を開始する。
- 昭和 63 年 4 月 石川県精神保健センターと名称を変更する。
痴呆性老人通所事業を開始する。（～平成 2 年度）
メンタルヘルス講座を開講する。（～平成 4 年度）
- 平成 元 年 4 月 社会復帰連絡会を開始する。（～平成 5 年度）
- 平成 3 年 4 月 こころの相談ダイヤル事業を開始する。
- 平成 6 年 4 月 こころの健康フェスタ開催事業を開始する。（～平成 10 年度）
- 平成 7 年 7 月 石川県精神保健福祉センターと名称を変更する。
- 平成 8 年 10 月 ピア・カウンセリング推進事業を開始する。（～平成 18 年度）
- 平成 13 年 4 月 石川県こころの健康センターと名称を変更する。
ひきこもり当事者グループ（悠友クラブ）を開始する。
ドメスティック・バイオレンス抑止男性支援事業を開始する。
- 平成 14 年 4 月 精神医療審査会、通院患者の公費負担及び精神障害者保健福祉手帳に関する業務が石川県健康福祉部障害保健福祉課より移管される。

- 平成 14 年 10 月 住所表示が金沢市鞍月東 2 丁目 6 番地に変更される。
- 平成 17 年 4 月 発達障害支援センターが設置される。
- 平成 18 年 4 月 親子通所センターが閉所される。(訓練課を廃止し、支援課を新設)
- 平成 20 年 9 月 石川県精神科救急情報センター「いしかわこころの救急ダイヤル」事業を開始する。
- 平成 20 年 9 月 いしかわ子どもの心のケアネットワーク事業を開始する。
- 平成 21 年 5 月 ひきこもり地域支援センターが設置される。
- 平成 21 年 9 月 こころの緊急支援事業 (C R T) を開始する。(～平成 26 年度)
- 平成 22 年 6 月 依存症教室を開始する。
- 平成 23 年 3 月 「こころの健康相談統一ダイヤル」を開始する。
- 平成 27 年 6 月 依存症家族交流会を開始する。
- 平成 27 年 7 月 依存症再発予防プログラムを開始する。

3 組織・機構

(1) 機構



(2) 職種別職員数

(令和元年11月1日現在)

職 種		医 師	保 健 師	看 護 師	精 神 保 健 福 祉 士	福 祉 指 導 員	保 育 士	心 理 判 定 員	電 話 相 談 員	事 務 職 員	事 務 補 助 員	計
職員	常 勤		3	2	1	2		6	1	4		19
	兼 務	1										1
嘱託	常 勤			1				1		1	1	4
	非 常 勤	3						1	11			15
臨時職員											1	1
計		4	3	3	1	2		8	12	5	2	40

(3) 課別職員数

(令和元年11月1日現在)

課 名	職 種	職 員		嘱 託		臨時 職員	計	
		常 勤	兼 務	常 勤	非常勤			
所 長	医 師		1				1	
次長兼庶務課長	事 務 職 員	1					1	
次長兼相談課長	保 健 師	1					1	
庶 務 課	看 護 師	1		1			8	
	事 務 職 員	3		1				
	事 務 補 助 員			1		1		
相 談 課	医 師					2	21	
	保 健 師	1						
	精 神 保 健 福 祉 士	1						
	福 祉 指 導 員	1						
	心 理 判 定 員	3			1			
	電 話 相 談 員	1			11			
支 援 課	医 師					1	8	
	保 育 士							
	保 健 師	1						
	看 護 師	1						
	福 祉 指 導 員	1						
	心 理 判 定 員	3			1			
計			19	1	4	15	1	40

4 業 務

I 庶務課

平成 14 年度に石川県健康福祉部障害保健福祉課から移管された次の業務を行っている。

- (1) 精神医療審査会に関する事務
- (2) 自立支援医療費（精神通院）の支給認定及び精神障害者保健福祉手帳に関する事務

II 相談課

相談課は精神保健福祉センター業務を担い、「精神保健福祉センター運営要領」（平成 8 年 1 月 19 日健医発第 57 号厚生省保健医療局長通知）により、次の業務を行っている。

(1) 企画立案

地域精神保健福祉を推進するため、県本庁及び関係諸機関に対し、専門的立場から、社会復帰の推進方策や、地域における精神保健福祉施策の計画的推進に関する事項等を含め、精神保健福祉に関する提案、意見具申等をしている。

(2) 技術指導及び技術援助

地域精神保健福祉活動を推進するため、保健所、市町及び関係諸機関に対し、専門的立場から、技術指導及び技術援助を実施している。

(3) 教育研修

保健所、市町及び福祉事務所、社会復帰施設その他の関係諸機関で精神保健福祉業務に従事する職員の技術的水準の向上を図るための専門的研修を実施している。

(4) 普及啓発

県民の心の健康づくり対策として、精神保健福祉の知識、精神障害についての正しい知識の普及を行うため、講演会の開催やパンフレット及びパネルの作成をするとともに、ビデオやDVDの貸出をしている。また、保健所、市町及び関係諸機関で開催する講演会や研修会に講師を派遣している。

(5) 精神保健福祉相談

幼児から老人まで、また自分自身のことから家族等に至るまで、広く心の問題に関する面接及び電話相談に応じている。また、精神保健福祉相談の円滑な推進を図るための会議を開催するなど関係諸機関との連携を図っている。

(6) 組織育成

地域精神保健福祉の向上を図るために、地域住民による家族会等の関係団体の育成に努め、活動を支援している。

(7) 調査研究

地域精神保健福祉活動の推進並びに精神障害者の社会復帰の促進及び自立と社会経済活動への参加の促進等についての調査研究を実施するとともに、精神保健福祉に関する統計及び資料の収集整備に努めている。

(8) ひきこもり社会参加復帰支援事業

ひきこもり対策を推進するための体制を整備し、ひきこもり本人や家族等を支援することにより、ひきこもり本人の自立を推進し、本人及び家族等の福祉の増進を図っている。

(9) 特定相談指導事業

アルコールや薬物などの特定相談に応じるとともに、それら関連問題の発生を予防するために、正しい知識の普及のための講演会や、当事者家族のための依存症教室や依存症再発予防プログラムを開催している。

(10) ドメスティック・バイオレンス抑止男性支援事業

ドメスティック・バイオレンスに悩む男性のための相談窓口を開設している。

(11) 自殺予防対策推進事業

平成 19 年度に策定された「石川県自殺対策行動計画」に基づき、関係諸機関と連携し、誰もが相談しやすい窓口の設置や自殺予防講演会などの普及啓発、支援者の資質向上のための研修会の開催、未遂者支援体制整備や自死遺族のケアを行っている。

(12) 子どもの心のケア推進事業

子どもの心の問題について、地域で安心して相談できる体制づくりを目指した相談対応や事例検討会、関係者育成セミナーなどを平成 20 年度から実施している。

Ⅲ 支援課（発達障害支援センター）

支援課は発達障害者支援センター業務を担い「発達障害者支援センター運営事業の実施について」（平成 17 年 7 月 8 日障発第 0708004 号厚生労働省社会・援護局障害保健福祉部長通知）により、次の業務を行っている。

- (1) 発達障害児(者)及びその家族等に対する相談支援
- (2) 発達障害児(者)及びその家族等に対する発達支援
- (3) 発達障害児(者)及びその家族等に対する就労支援
- (4) 関係施設及び関係機関等に対する普及啓発及び研修
(関係施設及び関係機関等との連携)

Ⅱ 平成30年度こころの健康センターの活動概要

1 庶務課業務

(1) 精神障害者保健福祉手帳の交付

ア 制度の概要

一定の精神障害者の状態にあることを証する手段となり、手帳の交付を受けた者に対し、各方面からの協力により各種の支援策が高じられることを促進し、もって精神障害者の社会復帰及び自立と社会参加の促進を図ることを目的として、平成7年に創設された。

イ 対象者

精神疾患（知的障害を除く）を有する者のうち、精神障害のため長期にわたり日常生活又は社会生活への制約がある者。

ウ 障害等級

- 1級 日常生活の用を弁ずることを不能ならしめる程度のもの
- 2級 日常生活が著しい制限を受けるか、又は日常生活に著しい制限を加えることを必要とする程度のもの
- 3級 日常生活若しくは社会生活が制限を受けるか、又は日常生活若しくは社会生活に制限を加えることを必要とする程度のもの

エ 交付手続き

申請書に写真（上半身）と（ア）又は（イ）の書類を添えて、居住地を管轄する市町長を経て、県知事に提出する。

（ア） 医師の診断書

精神障害に係る初診日から6か月を経過した日以後に作成されたもの

（イ） 年金証書等

精神障害を支給事由とする障害者年金または特別障害給付金を現に受給していることを証する書類の写し

オ 審査及び判定

診断書添付による申請の場合、手帳の交付の可否及び障害等級の判定については、精神保健指定医を委員とする石川県自立支援医療（精神通院）等判定会議で行われる。委員は7名（会議はメンバー持ち回りの4名出席で開催）で、平成30年度は22回開催した。

カ 手帳の有効期間

2年間 ※更新申請は有効期限の3か月前から可能

キ 手帳に基づく各種支援策

税制上の優遇措置や生活保護の障害者加算、公共交通機関の運賃割引、公共施設の利用料割引などの支援が受けられる。

表1 精神障害者保健福祉手帳の交付状況

(単位：件)

区 分		計	新 規		更 新				
			診断書	年金	診断書	年金			
平成 26年度	申請	3,387	1,640	1,747	660	377	980	1,370	
	交付	1級	267	147	120	35	24	112	96
		2級	2,646	1,231	1,415	492	300	739	1,115
		3級	426	248	178	123	41	125	137
		計	3,339	1,626	1,713	650	365	976	1,348
平成 27年度	申請	3,835	1,976	1,859	754	362	1,222	1,497	
	交付	1級	288	159	129	52	25	107	104
		2級	2,978	1,531	1,447	578	275	953	1,172
		3級	505	274	231	118	46	156	185
		計	3,771	1,964	1,807	748	346	1,216	1,461
平成 28年度	申請	3,979	1,984	1,995	769	402	1,215	1,593	
	交付	1級	262	130	132	37	25	93	107
		2級	3,148	1,544	1,604	601	325	943	1,279
		3級	522	301	221	126	43	175	178
		計	3,932	1,975	1,957	764	393	1,211	1,564
平成 29年度	申請	4,364	2,355	2,009	857	405	1,498	1,604	
	交付	1級	285	141	144	35	36	106	108
		2級	3,514	1,884	1,630	695	323	1,189	1,307
		3級	532	313	219	120	40	193	179
		計	4,331	2,338	1,993	850	399	1,488	1,594
平成 30年度	申請	4,556	2,299	2,257	865	437	1,434	1,820	
	交付	1級	266	121	145	37	30	84	115
		2級	3,773	1,880	1,893	701	361	1,179	1,532
		3級	495	290	205	120	41	170	164
		計	4,534	2,291	2,243	858	432	1,433	1,811

(2) 自立支援医療費(精神通院医療)支給認定

ア 制度の概要

障害者等が、その心身の障害の軽減を図り、自立した日常生活を営むために必要な医療を受けるに際して、その医療費の一部を公費で負担する制度である。即ち、医療費に対して各医療保険制度が適用された後、患者の自己負担額を医療費の1割とし(ただし、世帯の所得に応じて負担上限月額の設定あり)、残りを公費負担とする。

イ 対象者

精神保健及び精神障害者福祉に関する法律第5条に定める精神疾患を有する者で、通院による精神医療を継続的に必要とする程度の病状にある者。また、症状が殆ど消失している者であっても、障害の程度が軽減している状態を維持し、又は障害の再発を予防するために入院によらない治療を続ける必要がある場合も対象となる。

ウ 申請手続き

申請書に(ア)又は(イ)の場合における書類を添えて、居住地を管轄する市町長を経て、県知事に提出する。

(ア) 支給認定の申請のみを行う場合

自立支援医療（精神通院医療）の診断書、被保険者証など医療保険の加入関係を示すもの、受診者の属する「世帯」の所得の状況等が確認できる資料

※高額治療継続者については「重度かつ継続」に関する意見書

(イ) 手帳の新規交付又は再交付の申請と併せて支給認定の申請を行う場合

精神障害者保健福祉手帳用の診断書及び治療の投薬内容がわかる手帳用診断書投薬内容届、被保険者証など医療保険の加入関係を示すもの、受診者の属する「世帯」の所得の状況等が確認できる資料

※高額治療継続者については「重度かつ継続」に関する意見書

エ 支給認定

精神通院医療の要否については、石川県自立支援医療（精神通院）等判定会議で判定が行われ、県知事はその結果を受けて支給認定を行うかどうかを決定する。

オ 支給認定の有効期間

1年間 ※更新申請は有効期限の3か月前から可能

カ 受給者証の交付

支給認定が行われた申請者に対し、指定医療機関や自己負担上限月額、有効期間等を記載した自立支援医療受給者証（精神通院）を交付する。

表2 自立支援医療費（精神通院医療）の支給認定状況 (単位：件)

年 度	計	保 険 者 別 内 訳				
		被用者 保険本人	被用者 保険家族	国民健康 保険	生活 保護者	その他
平成26	14,522	2,549	3,123	6,849	1,821	180
平成27	15,235	2,847	3,191	7,049	1,960	188
平成28	16,077	3,192	3,306	7,249	2,106	224
平成29	15,988	3,233	3,276	7,185	2,059	235
平成30	16,859	3,635	3,449	7,291	2,215	269

表3 手帳所持者数及び支給認定者数の各年度末推移

年 度	手 帳 所 持 者 数				支給認定者数
	1 級	2 級	3 級	計	
平成21	683	3,239	484	4,406	10,731
平成22	697	3,541	502	4,740	11,685
平成23	687	3,973	572	5,232	12,275
平成24	622	4,256	620	5,498	12,885
平成25	578	4,683	721	5,982	13,532
平成26	532	5,070	814	6,416	14,074
平成27	538	5,475	911	6,924	14,577
平成28	518	5,964	999	7,481	15,154
平成29	527	6,526	1,031	8,084	15,656
平成30	542	7,120	1,024	8,686	16,220

表4 市町別手帳所持者数及び支給認定者数（平成31年3月31日現在）

区 分		加賀市	小松市	能美市	川北町	白山市	野々市市	金沢市	かほく市	津幡町	内灘町
手帳	1級	28	39	29	2	33	20	284	10	8	5
	2級	325	501	259	27	693	291	3,384	231	188	173
	3級	80	117	44	6	126	45	376	31	28	19
	計	433	657	332	35	852	356	4,044	272	224	197
通院		890	1,334	601	53	1,364	674	7,174	488	427	340
区 分		羽咋市	志賀町	宝達志水町	七尾市	中能登町	輪島市	穴水町	能登町	珠洲市	合計
手帳	1級	8	2	10	31	7	8	2	11	5	542
	2級	114	84	59	360	102	138	37	99	55	7,120
	3級	19	14	13	43	21	14	2	15	11	1,024
	計	141	100	82	434	130	160	41	125	71	8,686
通院		303	232	163	959	310	365	126	230	187	16,220

(3) 精神医療審査会

ア 設置の根拠法令

精神保健及び精神障害者福祉に関する法律（昭和25年法律第123号）第12条

イ 審査会の業務

病院からの次の病状報告や精神障害者の退院請求等に対して入院継続の要否又は処遇の適否を審査する。

(ア) 措置入院者の定期病状報告、医療保護入院者の定期病状報告、医療保護入院者退院支援審議記録、医療保護入院者の入院届、入院診療計画書

(イ) 入院中の者又はその家族等からの退院請求又は処遇改善の請求

ウ 委員構成

委員 10人（医療委員6人、法律家委員2人、有識者委員2人）

予備委員6名（医療予備委員2名 法律家予備委員2名 有識者予備委員2名）

エ 合議体

審査会には5人で構成する合議体を2つ設置し、審査は月1回交互に行う。

オ 平成30年度の開催実績

審査会12回、全体会議1回

表5 精神医療審査会の審査状況

年 度	退院等の請求			措置入院者の定期病状報告		医療保護入院者の定期病状報告		医療保護入院者の入院届		審査件数合計	
	審査件数	面接件数	入院形態の変更等	審査件数	入院形態の変更等	審査件数	入院形態の変更等	審査件数	入院形態の変更等	審査件数	入院形態の変更等
平成21	30	26	—	23	—	1,253	—	2,310	—	3,616	—
平成22	27	23	—	23	—	1,234	—	2,348	—	3,632	—
平成23	50	33	—	31	—	1,316	—	2,343	—	3,740	—
平成24	37	33	—	31	—	1,314	—	2,487	—	3,869	—
平成25	34	25	—	30	—	1,287	—	2,577	—	3,928	—
平成26	29	29	—	25	—	1,294	—	2,683	—	4,031	—
平成27	39	37	—	27	—	1,235	—	2,833	—	4,134	—
平成28	25	23	—	26	—	1,260	—	2,869	—	4,180	—
平成29	32	30	2	28	—	1,214	—	2,877	—	4,151	2
平成30	27	23	4	34	—	1,164	—	2,873	—	4,098	4

注)入院形態の変更等の欄は、審査会において退院が適当又は他の入院形態が適当との意見が示された件数

2 相談課業務

(1) 技術指導及び技術援助

地域精神保健福祉活動を推進するために、保健所及び関係機関に対し職員等を派遣するなど専門的な立場から技術援助を行っている。

平成 30 年度の技術援助回数は 772 回で、支援内容としては、情報提供・その他が 326 回(42.2%)と一番多かった (表 1)。

保健所 (県保健福祉センター及び金沢市福祉健康センター、以下「保健所」とする。) には 106 回 (13.7%) で、保健所以外の行政・教育・福祉等の関係機関には 666 回 (86.3%) であった (表 2、表 3)。

表 1 技術援助回数

区 分	計	事 例 検討会	相 談 訪 問 指 導	知 識 普及・ 保 健 活 動	会 議 へ の 参 画	関 係 機 関 と の 連 絡 調 整	患 者 ク ラ ブ 活 動 等 の 援 助	情 報 提 供 ・ そ の 他
合 計	772	29	79	119	61	137	21	326

ア 保健所

平成 30 年度における保健所からの要請による技術援助は 106 回で、情報提供・その他が 38 回と一番多く、次いで関係機関との連絡調整が 22 回であった (表 2)。

表 2 保健所への技術援助及び技術指導回数

区 分	計	事 例 検討会	相 談 訪 問 指 導	知 識 普及・ 保 健 活 動	会 議 へ の 参 画	関 係 機 関 と の 連 絡 調 整	患 者 ク ラ ブ 活 動 等 の 援 助	情 報 提 供 ・ そ の 他
南加賀保健福祉センター	18	0	3	2	2	6	1	4
石川中央保健福祉センター	31	0	1	2	5	5	5	13
能登中部保健福祉センター	28	1	2	3	3	4	4	11
能登北部保健福祉センター	6	0	0	1	1	2	2	0
金沢市福祉健康センター	23	1	4	1	0	5	2	10
合 計	106	2	10	9	11	22	14	38

イ 関係機関（保健所を除く）

平成 30 年度の保健所以外の行政や教育、医療機関等の関係機関への技術援助は 666 回で、情報提供・その他が 288 回、次いでが関係機関との連絡調整が 115 回であった（表 3）。

関係機関の区分別では、国・県が 175 回と一番多く、次いで医療への技術援助が 148 回、市町 70 回の順になっている（表 3）。

表 3 関係機関（保健所を除く）への技術援助及び技術指導回数

区 分	計	事 例 検 討 会	相 談 訪 問 指 導	知 識 普 及 ・ 保 健 活 動	会 議 へ の 参 画	関 係 機 関 と の 連 絡 調 整	患 者 ク ラ ブ 活 動 等 の 支 援	情 報 提 供 ・ そ の 他
国 ・ 県	175	2	7	28	18	47	2	71
市 町	70	5	9	11	4	11	0	30
医 療	148	5	18	15	9	27	3	71
福 祉	17	2	7	1	0	2	0	5
教 育	53	4	7	24	0	7	0	11
労 働	30	1	5	2	1	7	0	14
各種精神保健団体	20	0	0	10	1	3	0	6
障害者支援施設等	49	2	4	2	1	4	2	34
司 法	48	6	4	3	15	6	0	14
そ の 他	56	0	8	14	1	1	0	32
合 計	666	27	69	110	50	115	7	288

(2) 教育研修

平成 30 年度は、保健所および精神保健福祉に関する諸機関の職員を対象にした研修会を 26 回開催した。

ア 精神保健福祉医療担当者研修会

地域における精神保健福祉医療業務が円滑に推進されるように、保健福祉医療関係機関の職員で精神保健福祉の担当として初任者（2 年未満）を対象に、相談に係る基礎知識の習得や技術の向上を図ることを目的に研修を実施した。

日時	プログラム内容及び講師	参加数
平成 30 年 6 月 20 日 (水)	I 「精神障害者に関する基礎知識～理解と援助～」 こころの健康センター 所長 角田 雅彦	88 人
	II 「精神保健福祉行政について」 県障害保健福祉課 医療支援グループリーダー 北野 浩子	
	III 「精神保健福祉センターにおける支援（1）」 こころの健康センター 相談課	
	①センター業務全般 主幹 深谷 敏 ②精神保健医療福祉等社会資源情報 主任主事 北瀬 英里 ③ひきこもり対策 主事 福村 赳	
	IV 「発達障害支援センターの活動概要」 こころの健康センター 支援課長 酒井 伸吾	
V グループワーク「日常業務及び相談支援業務から思うこと」		
平成 30 年 7 月 4 日 (水)	I 「精神保健福祉センターにおける支援（2）」 こころの健康センター 相談課	87 人
	①自殺対策 主任主事 長谷川陽香 ②子どもの心の診療ネットワーク 担当課長 飯田 芳枝 ③いしかわーぷ等依存症支援 主幹 潟邊 裕江 ④精神保健福祉医療を取り巻く情勢 課長 寺西 衣姫	
	II 「インテーク面接～相談における留意点」 こころの健康センター 相談課 主幹 潟邊 裕江	
	III 「県保健福祉センターにおける精神保健福祉について」 能登中部保健福祉センター健康推進課 主任技師 西出 麻美	
	IV 「市町における精神保健福祉」 内灘町福祉課保健師 中橋 順子	
V 「精神科医療の役割及び相談支援事業所における支援」 医療法人松原会 七尾松原病院 医療相談室 ソーシャルワーカー 木谷 昌平		

イ 石川県災害派遣精神医療チーム（DPAT）研修会

石川県災害派遣精神医療チーム（DPAT）として活動する精神科医療機関の従事者を対象に、平時から、必要な知識や活動手法やケア技術、情報伝達等の訓練により、それらを習得し、災害発生に備えた精神医療の活動体制を構築することを目的に研修会を実施した。

開催日時：平成30年10月14日（日）9:00～17:30

参加者数：34人

プログラム内容	講師及び担当者
I 講義 災害医療概論とDPATの活動理念	DPAT事務局 吉田航氏
II 講義 県内の各種体制について (1)石川県の防災計画等(全体) (2)石川県の災害時医療提供体制 (3)石川県の精神保健医療提供体制	石川県危機対策課 課参事 菊田 公治氏 石川県医療対策課 医療指導GL 池田 貴志氏 石川県障害保健福祉課 医療支援G係主査 乙部創氏
III 講義 DPATと災害医療コーディネーター	石川県立中央病院 統括DMAT 明星康裕氏
IV 講義・演習① 災害時のロジスティクスとは	DPAT事務局 医師 五明 佐也香氏 看護師 岸野 真由美氏 事務職 白井 裕子氏 臨床心理士 吉田 航氏 こころの健康センター所長 角田 雅彦氏
V 演習② DPAT調整本部・拠点本部立上	
VI 演習③ DPAT被災病院支援・避難所支援	

ウ ひきこもり対策 (詳細は P34 参照)

(ア) ひきこもり対策ネットワーク会議 開催回数 1 回、参加者数 32 人

エ 自殺予防関連研修会 (詳細は P42～P45 参照)

(ア) 包括的支援のための多職種事例検討会 開催回数 3 回、参加者数 65 人

(イ) ゲートキーパー指導者研修会 開催回数 1 回、参加者数 22 人

(ウ) 救急告示医療機関職員等に対する研修会 開催回数 1 回、参加者数 53 人

オ 子どもの心のケア推進事業 (詳細は P49～52 参照)

(ア) 子どもの心の支援者研修会

a 子どもの心の問題に携わる関係者育成セミナー

講演会 開催回数 5 回、参加者数 258 人

b 発達障害等早期支援関係者セミナー

講演会 開催回数 2 回、参加者数 132 人

学習会・グループワーク 開催回数 4 回、参加者数 72 人

(イ) 子どもの心の支援事例検討会

a 未就学児等事例検討会 開催回数 1 回、参加者数 33 人

b 児童・青年期事例検討会 開催回数 1 回、参加者数 92 人

c 精神科・小児科医師等事例検討会 開催回数 4 回、参加者数 48 人

(3) 普及啓発

一般県民等を対象として、精神保健福祉や心の健康に関する理解を深め、地域社会における精神保健福祉活動の推進を図ることを目的として、講演活動や各種団体などが開催する研修会への講師派遣、「センターだより」等の発行やホームページの作成、マスコミを通じての広報活動等、普及啓発を実施した。

ア 公開講演会

(ア) アディクション関連問題講演会（依存症関連問題指導事業（P38）に掲載）

(イ) こころの健康づくり講演会（自殺予防対策推進事業（P41）に掲載）

イ 講師を派遣した講演会

県	生活安全課	石川県多重債務問題対策協議会	1	24人
	障害保健福祉課	ストレスコントロールとアンガーマネジメント	1	150人
	人事課	職場におけるメンタルヘルス	3	150人
	石川県労働委員会	発達障害の対応について	1	21人
	消防学校	メンタルヘルス	1	40人
		「こころとからだの健康」	1	27人
		幹部教育	1	27人
	警察本部	依存症の理解と対応	1	50人
		精神障害者への理解と対応	1	15人
悲しみ110番	死別の悲しみに向き合う	1	18人	
市町	石川県市町村職員研修所	職場のメンタルヘルス	3	160人
	小松市いきいき健康課	いのちの大切さを学ぶ講演会	1	107人
	加賀市役所	加賀市庁内外自殺対策連絡会	1	30人
	氷見市	かけえのない命を守るために	1	50人
医療	能美市立病院	メンタルヘルスについて	1	100人
	加賀市医療センター	ゲートキーパーについて、かけがえない命を守るために	1	74人

	派遣先	内容	回数	参加人数
教育	小松市立芦城中学校	いのちの大切さを学ぶ講演会	1	147人
	小松市立中海中学校	いのちの大切さを学ぶ講演会	1	45人
	小松市立安宅中学校	いのちの大切さを学ぶ講演会	1	70人
	小松市立国府中学校	いのちの大切さを学ぶ講演会	1	73人
	小松市立丸内中学校	いのちの大切さを学ぶ講演会	1	107人
	小松市中学校校長会	いのちの大切さを学ぶ講演会の意義	1	20人
	金沢桜丘高校	高校生のメンタルヘルス	1	30人
	県立総合看護専門学校	ゲートキーパー講義	2	100人
	金沢大学	地域精神保健・自殺防止対策	7	29人
	金沢大学	精神医療体制と行政	1	100人
	富山大学医学部	地域精神保健・自殺防止対策	1	100人
	金沢リハビリテーションアカデミー	かけがえのない命を守るために	1	60人
その他	民間企業	従業員のメンタルケアについて	1	41人
	子ども夢フォーラム	気になる子どもたち～子どもの SOS に 気づき寄り添うには?～	1	35人
	長寿いきがいセンター	こころの健康について	3	188人
計			44	2,188人

ウ 自殺予防街頭キャンペーン (詳細は P41 参照)

日 時 平成 30 年 9 月 12 日 (月) 7:30～8:30

場 所 JR 金沢駅東口、香林坊大和前

エ 自殺予防に関する普及啓発資料 (詳細は P41 参照)

啓発媒体として、チラシ、ポスター、パンフレットを作成し、県民や関係機関へ配布した。

オ 障害者ふれあいフェスティバルにおける福祉相談コーナーの設置

心の健康に関する正しい知識について普及啓発することを目的に、障害者ふれあいフェスティバルにおいて福祉相談コーナーを設置した。

日 時 平成 30 年 9 月 30 日（日） 10:00～16:00
場 所 石川県産業展示館 4 号館
内 容 こころの健康相談、こころの健康づくり、アルコールパッチテスト

カ 普及啓発資料

こころの健康センターの事業の紹介や精神保健の動向について発行した。

媒体	内 容	発行部数
センター だより	第 89 号 特集「コミュニケーションについて」	600 部
講演録	平成 30 年度こころの健康づくり講演会 「生きづらさを生き抜く」	400 部

キ マスコミ活用（報道等で掲載されたもの）

期 日	報 道 機 関	内 容
H29.11.15、H30.2.13	広報いしかわ	こころの健康づくり講演会開催案内
H28.4～H29.3	市町広報 4 市町	自死遺族交流会の案内

ク 普及啓発教材の貸出

病院や地域関係機関にビデオ、パネル等の貸し出しを行っており、平成 30 年度は 6 件の依頼があった。

ケ 関係機関情報の作成

石川県内の精神保健福祉に関する社会資源の情報をまとめ、ホームページに掲載した。
アドレス <https://www.pref.ishikawa.lg.jp/fukusi/kokoro-home/kokoro/shiryuu.html>

(4) 精神保健福祉相談

平成30年度の精神保健福祉相談延件数は、8,210件で、電話相談が6,991件(85.2%)、来所相談が1,219件(14.8%)であった。来所相談の新規相談は315件であった。そのうち今年度初めての新来相談件数は190件であった。また訪問等は、18件実施した。(表1、表2)。

性別では、「男」が4,166件(50.7%)、「女」が4,044件(49.3%)であった(表1)。

年齢別では、「50～64歳」が2,758件(33.5%)と最も多く、次いで「30～39歳」が1,763件(21.5%)、「40～49歳」が1,677件(20.4%)となっている(表3、図1)。

相談区分では、「社会復帰」が4,417件(53.8%)で最も多く、次いで「心の健康づくり」が2,240件、「うつ・うつ状態」が463件の順であった。また相談区分をキーワードにより再掲(複数回答)すると、ひきこもり545件と最も多く、次いで発達障害が355件となっている(表4)。

思春期相談(対象年齢12歳～18歳)は253件の相談があり、性別にみると「男」が113件(44.7%)、「女」が140件(55.3%)であった(表5)。

ア 電話相談

電話相談は、当センターへの電話相談及び専用電話「こころの相談ダイヤル」への相談を合わせたもので、平成30年度の相談件数(延件数)は6,991件であり、性別にみると男性3,291件(47.1%)、女性3,700件(52.9%)と、女性の方が409件多かった(表1)。

年齢別では、「50～64歳」が2,670件(38.2%)と最も多く、次いで「40～49歳」が1,562件、「30～39歳」1,401件の順であった(表3、図1)。

相談区分別では、「社会復帰」が4,302件(61.5%)で最も多く、次いで「心の健康づくり」が1,523件、「その他」が453件、「うつ・うつ状態」が317件の順であった。また相談区分をキーワードにより再掲(複数回答)すると、「発達障害」が456件(6.5%)と最も多く、次いで「ひきこもり」が232件であった(表4)。

内容別相談件数では「精神障害者の生活上の問題」が2,061件(29.5%)と最も多く、次いで「社会復帰・デイケアの問題」1,621件(23.2%)、「家庭内の問題」651件(9.3%)、の順であった(表6、図2)。

電話相談における対応状況としては、「傾聴・助言」が6,274件(89.8%)と最も多く、次いで「他機関紹介」が457件(6.5%)、「来所相談の勧奨」が159件(2.3%)であった(表7)。

イ 来所相談

来所相談は、原則として予約制で、相談課職員が対応しており、必要に応じ所長または嘱託医（精神科医・小児科医）の診察を実施している。

平成30年度の来所相談件数（延）は1,219件であった（表1）。

年齢別では、「30～39歳」が362件（29.7%）と最も多く、次いで「25～29歳」が269件、「19～24歳」が169件の順であった（表3、図1）。

相談区分別では、「心の健康づくり」が717件（58.8%）で最も多く、次いで「思春期」が152件、「うつ・うつ状態」が146件の順であった。相談区分をキーワードにより再掲（複数回答）すると、「ひきこもり」が531件（43.6%）と最も多く、次いで「発達障害」が302件であった（表4）。

内容別相談件数では、「ひきこもり」が494件（40.5%）と最も多く、次いで「性格・行動上の悩み」が118件で、「不登校・学校不適應」が114件の順であった（表6、図2）。

新来相談の来所経路は、男女ともホームページや口コミにより「直接」来所してくる場合が81件（42.6%）と一番多い。次いで「医療機関（精神科・一般）」が43件「施設・学校」が33件の順であった（表8）。

来所相談における対応状況としては、「助言」が1,032件（84.7%）と最も多かった。来所者への診察は46件（うち「診断書発行」は4件）、検査は16件を実施している（表9）。また相談結果の紹介先として、「医療機関（主に精神科）」が13件であった（表10）。

来所相談における診断状況をみると、「診断保留」が410件（33.6%）と「不明（医師の診察を受けていない）」が287件（23.5%）で、半数以上（57.1%）を占めていた。診断された方は、「心理的発達の障害」が179件（14.7%）と最も多く、次いで「気分（感情）障害」が111件（9.1%）、「神経症性障害等」が71件（5.8%）の順であった（表11）。

表1 精神保健福祉相談実施状況

	男		女		合計	
	件数	%	件数	%	件数	%
電話相談	3,291	47.1	3,700	52.9	6,991	100
来所相談	875	71.8	344	28.2	1,219	100
初回相談	198	62.9	117	37.1	315	100
新来	105	55.3	85	44.7	190	100
継続相談	677	74.9	227	25.1	904	100
合計	4,166	50.7	4,044	49.3	8,210	100

件数は延件数

電話相談は無言66件を除く

表2 精神保健福祉相談件数の推移

年度	電話相談	来所相談	計	訪問等
H26	6,038	2,162 (293)	8,200	55
H27	7,810	1,749 (184)	9,559	16
H28	7,626	1,580 (188)	9,206	10
H29	7,728	1,259 (159)	8,987	7
H30	6,991	1,219 (190)	8,210	18

※件数は延件数（電話相談は無言 66 件を除く） 注：（ ）は内数で新来相談件数

表3 年齢別相談件数

年齢区分	相 談 区 分				合 計	
	電 話 相 談		来 所 相 談		件数	%
	件数	%	件数	%		
0～5歳	1件	0.0%	0件	0%	1件	0.0%
6～12歳	22	0.3	17	1.4	39	0.5
13～15歳	35	0.5	94	7.7	129	1.6
16～18歳	136	1.9	98	8.0	234	2.9
19～24歳	220	3.1	169	13.9	389	4.7
25～29歳	140	2.0	269	22.1	409	5.0
30～39歳	1,401	20.0	362	29.7	1,763	21.5
40～49歳	1,562	22.3	115	9.4	1,677	20.4
50～64歳	2,670	38.2	88	7.2	2,758	33.5
65歳以上	157	2.2	5	0.4	162	2.0
不明	647	9.3	2	0.2	649	7.9
合計	6,991	100.0	1,219	100.0	8,210	100.0

※件数は延件数（電話相談は無言 66 件を除く）

図1 精神保健福祉相談における年齢別内訳

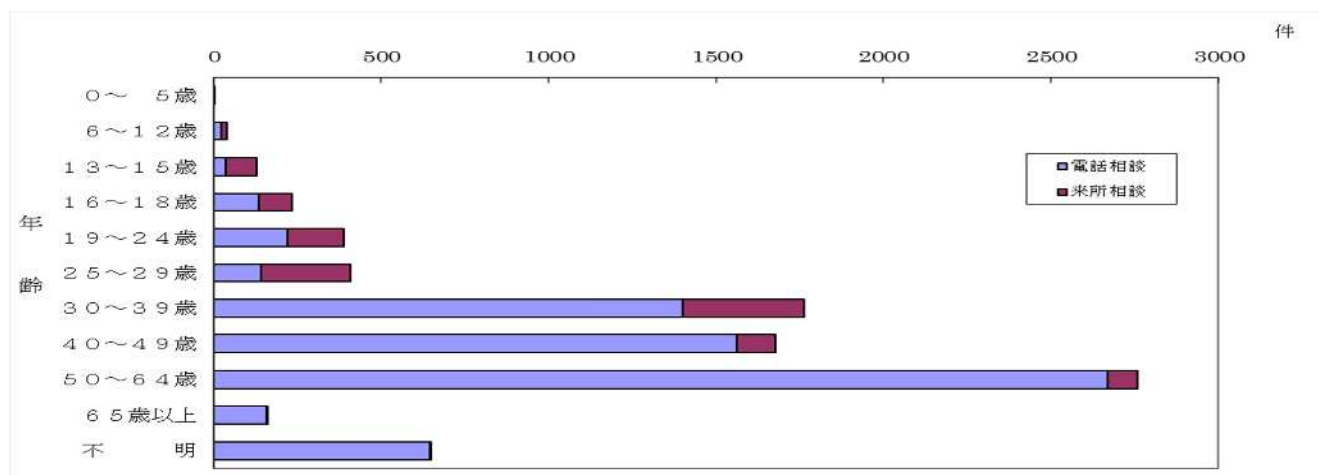


表4 相談区分別内訳

相談区分	平成30年度			平成29年度	
	電話相談	来所相談	(新来)※	合計	
老人精神保健	60	0	(0)	60	
社会復帰	4,304	113	(13)	4,417	
アルコール	76	13	(4)	89	
薬物	8	4	(1)	12	
ギャンブル	48	15	(6)	63	
思春期 ※※	179	152	(53)	331	
心の健康づくり	1,523	717	(71)	2,240	
うつ・うつ状態	317	146	(23)	463	
摂食障害	22	0	(0)	22	
てんかん	1	0	(0)	1	
その他	453	59	(19)	512	
計	6,991	1,219	(190)	8,210	
再掲 (*)	ひきこもり	232	531	(30)	763
	発達障害	456	302	(24)	758
	自殺	122	56	(13)	178
	(再)自殺遺族	33	3	(2)	36
	犯罪被害	0	0	(0)	0
	災害	0	0	(0)	0

※ 来所相談の(新来)は内数、電話相談は無言66件を除く

※※思春期は、12歳～18歳の者

* 再掲は、複数の区分に該当する場合は、それぞれに計上

表5 思春期相談(男女別:再掲)

相談区分	男	女	合計(延)
電話相談	37件	64件	101件
来所相談	76	76	152
合計	113	140	253

表6 内容別相談件数

相談内容	相談区分				合計	
	電話相談		来所相談			
	件数	%	件数 (実)	%	件数	%
発達上の問題	57件	0.8%	51件 (22)	4.2%	108件	1.3%
不登校・学校不適応	80	1.1	114 (34)	9.4	194	2.4
ひきこもり	225	3.2	494 (79)	40.6	719	8.7
非行・反社会的問題	8	0.1	3 (2)	0.2	11	0.1
暴力	94	1.3	99 (22)	8.1	193	2.4
家庭内の問題	651	9.3	57 (19)	4.7	708	8.6
出産・育児上の悩み	27	0.4	0 (0)	0.0	27	0.3
更年期の悩み	3	0.0	0 (0)	0.0	3	0.0
高齢者の問題	34	0.5	0 (0)	0.0	34	0.4
仕事・職場の悩み	305	4.4	82 (28)	6.7	387	4.7
身体上の悩み	37	0.5	0 (0)	0.0	37	0.5
摂食障害	17	0.2	1 (1)	0.1	18	0.2
性格・行動上の悩み	156	2.2	118 (32)	9.7	274	3.3
対人関係上の悩み	239	3.4	16 (8)	1.3	255	3.1
アルコール問題	69	1.0	13 (6)	1.1	82	1.0
薬物問題	8	0.1	4 (2)	0.3	12	0.1
ギャンブル問題	48	0.7	15 (8)	1.2	63	0.8
アルコール・薬物以外の依存	53	0.8	1 (1)	0.1	54	0.7
性についての悩み	40	0.6	31 (3)	2.5	71	0.9
日常生活に関する心配・不安	506	7.2	21 (10)	1.7	527	6.4
神経症	4	0.1	0 (0)	0.0	4	0.0
精神障害への不安	97	1.4	6 (4)	0.4	103	1.3
病気の治療上の問題	237	3.4	6 (4)	0.5	243	3.0
社会復帰・デイケアの問題	1,621	23.2	61 (15)	5.0	1,682	20.4
精神障害者への対応	104	1.5	1 (1)	0.1	105	1.3
精神障害者の生活上の問題	2,061	29.6	5 (5)	0.4	2,066	25.2
情報提供	37	0.5	0 (0)	0.0	37	0.5
その他	173	2.5	20 (9)	1.7	193	2.4
合計	6,991	100.0	1,219 (315)	100.0	8,210	100.0

件数は延件数（実件数）

電話相談は無言 66 件を除く

図2 内容別相談件数

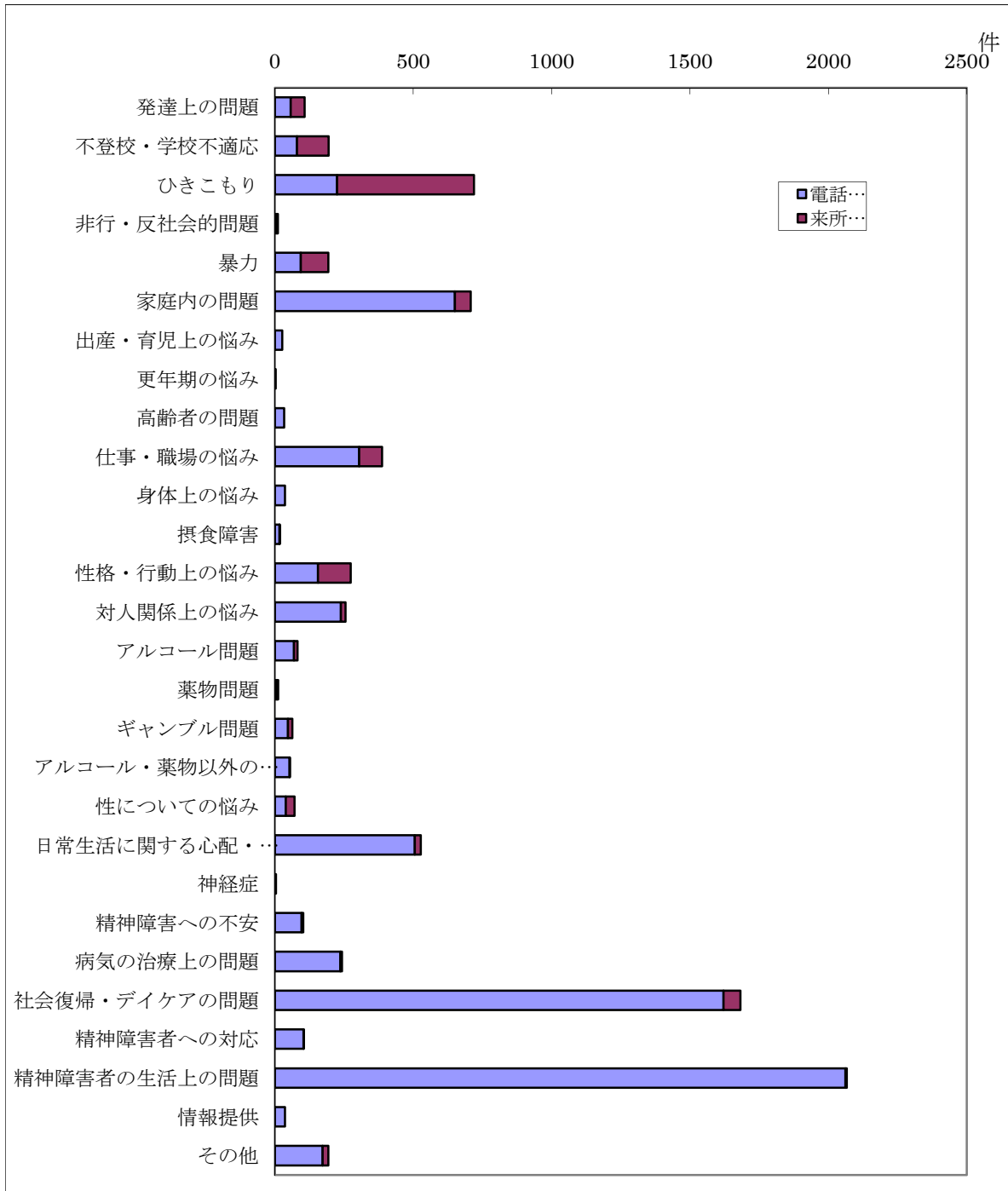


表7 電話相談における対応状況

区分	傾聴・助言	センター (来所相談) へ紹介	他機関紹介	その他	再連絡	合計
件数	6,274	159	457	101	0	6,991
%	89.8%	2.3%	6.5%	1.4%	0%	100%

件数は延件数

表8 新来相談における来所経路

経路	性別	男	女	合計
直 接 (ホームページ等含む)		49	32	81
医 療 機 関 (精 神 科)		10	16	26
医 療 機 関 (一 般 科)		9	8	17
県保健福祉センター・金沢市福祉健康センター		3	4	7
児 童 相 談 所		0	0	0
福 祉 事 務 所		4	0	4
児 童 ・ 民 生 委 員		0	0	0
施 設 ・ 学 校		11	22	33
ハローワーク(職業安定所・ジョブカフェ石川)		6	0	6
警 察		0	0	0
県 庁 ・ 市 町 役 場		5	0	5
そ の 他 の 相 談 機 関		5	1	6
こ こ ろ の 相 談 ダ イ ヤ ル		0	0	0
そ の 他 の 電 話 相 談		0	0	0
そ の 他		3	2	5
合 計		105	85	190

件数は実件数

表9 来所相談における対応状況

対応状況	来所者区分	初 回 相 談 (実 件 数)		継 続 相 談 (延件数)	合 計
		新	来		
助 言 ・ 継 続 面 接		166 件	118 件	866 件	1,032 件
診 察		20	6	26	46
	(内) 診 断 書 発 行	2	2	2	4
検 査 等 ※		4	1	12	16
合 計		315	190	904	1,219

※ 知能・心理検査、検査結果の説明などを行ったもの

表 1 0 来所相談・訪問相談における関係機関への紹介先

紹介先	来所者区分		初回相談（実件数）		継続相談 （延件数）	合 計
			新 来			
医 療 機 関			4 件	4 件	9 件	13 件
保 健 所			0	0	0	0
福 祉 機 関			0	0	0	0
教 育 機 関			0	0	0	0
そ の 他			2	2	3	5
合 計			6	6	12	18

表 1 1 来所相談における診断状況

診断名	来所者区分		初回相談(実件数)		継続相談 （延件数）	合 計	
			新来				
症状性を含む器質性精神障害			0 件	0 件	0 件	0 件	0 %
精神作用物質使用による精神及び行動の障害			7	4	7	14	1.1
統合失調症、統合失調症型障害及び妄想性障害			16	7	34	50	4.1
気 分 （ 感 情 ） 障 害			39	25	72	111	9.1
神経症性障害、ストレス関連障害及び身体表現性障害			29	19	42	71	5.8
生理的障害及び身体的要因に関連した行動症候群			0	0	0	0	0
成人の人格及び行動の障害			6	4	32	38	3.1
知的障害＜精神遅滞＞			2	0	3	5	0.4
心 理 的 発 達 の 障 害			33	8	146	179	14.7
小児期及び青年期に通常発症する行動及び情緒の障害			5	5	14	19	1.6
神 経 疾 患 等			16	14	16	32	2.6
て ん か ん			1	1	2	3	0.2
診 断 保 留			84	49	326	410	33.6
不 明			77	54	210	287	23.7
合 計			315	190	904	1,219	100.0

(5) 組織育成

平成 30 年度に、当センターが直接かかわりをもった組織は、石川県精神障害者家族会連合会、石川県精神障害者支援事業所連絡会、石川県メンタルヘルスボランティア連絡協議会、石川県精神保健福祉協会、依存症関連自助グループの各団体である。

それぞれに対する支援の回数、参加人数は表 1 のとおりである。

表 1 協力組織への支援

対 象	回 数	参加人数
石川県精神障害者家族会連合会	42	335
石川県精神障害者支援事業所連絡会	4	48
石川県メンタルヘルスボランティア連絡協議会	2	88
石川県精神保健福祉協会	39	1,233
依存症関連自助グループ	70	295
合 計	157	1,999

ア 精神障害者家族会

(ア) 石川県精神障害者家族会連合会 (石家連)

精神障害者家族会は、昭和 48 年から石川県内の保健所単位に地域家族会が結成され、昭和 49 年 2 月に 10 家族会による連合会が発足した。

その後、病院家族会の参加や地域家族会の統合等により、平成 30 年度は、10 家族会で、会員は 168 名である。

石家連への支援は、総会を始め各理事会、精神障害者家族会と病院長等との懇談会、行政との懇談会など、計 42 回の支援を行った。

(イ) 地域家族会

地域家族会の育成援助は必要に応じて講師及び助言支援を行っている。

イ 石川県精神障害者支援事業所連絡会

平成 5 年度から県内の精神障害者小規模作業所指導員の研修の場として、活動を行ってきた。作業所数が大幅に増加したことから、平成 8 年 5 月に県内の小規模作業所で組織する石川県精神障害者支援事業所連絡会が発足し、月 1 回の例会等の活動を行っている。

平成 30 年度は、16 ケ所の精神障害者支援事業所が参加している。当センターからは、総会や定例会の会場提供や出席を通して、活動を支援している。

ウ 石川県メンタルヘルスボランティア連絡協議会

昭和 63 年に当センターでメンタルヘルスボランティア講座が開催され、各グループによる積極的な活動が行われてきた。平成 11 年に連絡会が開催され、平成 13 年度には「石川県メンタルヘルスボランティア連絡協議会」が発足。平成 30 年度には 7 グループが活動している。当センターからは、総会での会場提供や出席を通して、活動を支援している。

エ 石川県精神保健福祉協会

昭和 35 年 10 月に石川県精神衛生協会が結成され、平成 3 年 6 月、名称を石川県精神保健協会、平成 10 年 6 月に石川県精神保健福祉協会と改めている。平成 30 年度会員は、個人会員 316 名、団体会員 27 団体、特別会員 12 病院となっている。

表 2 精神保健福祉協会への支援

期 日	内 容	対 象	人 数
30. 5.10 ~ 31. 3.9 まで	こころの健康づくり講師派遣事業	地域、学校、 職域等の団体	13 回 365 人
30. 4. 1 ~ 31. 3.31 まで	〃 関係事務	〃	13 回 13 人
30. 5.2	表彰審査委員会	委員等	10 人
30.5.16	理 事 会	理事、監事等	20 人
31. 3. 6	〃	〃	16 人
30.6.16	総 会	会員、関係者等	56 人
〃	精神保健講演会 演題：「精神疾患の早期発見・早期治療」	会員、一般	89 人
30.9.29	第 1 回精神保健福祉フォーラム（精神保健福祉研究会） テーマ「石川のみんなで精神に障害のある人 達をささえよう」 特別講演 演題：「凸凹と共に生きる」 パネルディスカッション	関係機関職員、 保健所、一般	286 人
30.11.21	精神障害者家族会と病院長等との懇談会 演題：「クロザピンについて」	関係機関職員、 一般	70 人

31.1.12	地域精神保健専門委員会講演会 演題：「治療に抵抗する大切な家族を上手く 治療につなげるために—CRAFT の 活用法—」	関係機関職員、 教育関係者、 一般	128 人
31.2.16	教育と精神保健専門委員会 演題：「身体的不器用さのある子どもの理解 と支援—運動発達支援活動の事例を 中心に—」	会員、教育関係 者、一般	30 人
31.3.1、 31.3.8	産業と精神保健専門委員会 演題：「自殺防止対策について」 「メンタルヘルスにおける管理監督者 の役割」 金沢会場、七尾会場	企業関係者	計 23 人
31.3.9	精神保健福祉研修会 演題：「生きづらさを生き抜く」	関係機関職員、 保健所、一般	121 人
31.3.14	会報編集委員会	委員等	6 人

計 38 回 1,233 人

オ 依存症関連自助グループ

平成 30 年度における、当センターが把握している依存症関連自助グループは、アルコール、薬物、ギャンブル、摂食障害、AC などに関する 22 グループである。活動に関する周知協力や、情報交換、ミーティングへの参加などを通して活動を支援している。

(6) 調査研究等

平成 30 年度は、前年度に引き続き、県内の精神科病床を有する医療機関における災害対策状況について調査した。

(調査方法及び回答率)

日本精神科病院加盟（以下「日精協」という）12 病院及び国公立等 7 病院の計 19 病院を対象に郵送自記式にて調査し回答率は 100%であった。

(主な調査結果)

防災マニュアルの作成は平成 29 年度と比べ 1 病院増加し 18 病院 (94.7%) が作成していた。情報システムとしての EMIS への基礎情報の登録は 4 病院増え 17 病院 (89.5%) となったが、平時から入力情報を職員に周知したり、入力訓練を実施したりしている病院は共に 9 病院 (47.4%) であった。

災害別避難場所の設定は 2 病院増えて 14 病院 (73.7%) であり、患者特性に応じた避難方法の検討は 12 病院 (63.2%) が行っているが、職員への周知は 7 病院 (36.8%) であった。

ライフラインの確保については、緊急時の電源は全ての病院が確保している。ガスの供給装置は 9 病院 (47.4%)、水洗便所の使用不可対応の検討は 10 病院 (52.6%) で実施しており、電話不通時の手段確保は昨年より 1 病院増え 9 病院 (47.4%) で対応されていた。

また、入院患者等情報の紙面化は 12 病院 (63.2%) であり、その更新とバックアップを行っているのは 11 病院 (57.9%) だった。

前年度と比べ災害対策の進捗情報は若干だが前進していると評価できる。このような調査を継続することで、平時からの災害への十分な備えに繋がることが望ましい。

上記の調査について、『精神科医療機関における災害対策状況について』と題し、第 46 回北陸公衆衛生学会（平成 30 年 11 月 5 日）にて発表した。

(7) ひきこもり社会参加復帰支援事業

平成 13 年 4 月から、青年期におけるひきこもりや不登校を対象として事業が開始され、平成 21 年度からは、ひきこもり地域支援センター事業を兼ねて実施している。

地域の保健所や関係機関と連携を図りながら、個別相談や家族交流会、ひきこもり当事者グループ活動、必要に応じて関係機関への訪問等の活動を行った。

また、平成 26 年度から「ひきこもりサポーター養成研修」を実施し、保健所等への派遣を行っている。

ア 個別相談

専用の相談窓口、相談日は設けず、随時相談に応じている。

表 1 ひきこもり相談件数

区 分	延件数
電 話 相 談	232 件
来 所 相 談	485 件
訪 問 等	1 件
メ ー ル へ の 対 応	1 件
合 計	719 件

イ ひきこもり当事者グループ（悠友クラブ）活動

ひきこもっている若者たちが安心して過ごせる「居場所」を確保し、同じ悩みをもつ仲間との交流体験を通して、孤独感の軽減、対人関係の改善や社会性の向上、ひきこもりや社会不適應からの脱却を図るために実施した。

日 時：毎週水曜日 13:30～15:30

回 数：年 48 回

内 容：スポーツ、散策、ゲームなど、参加者が話し合いによって決める。

対 象：概ね 18 歳以上のひきこもり状態の方

参加数：実人数 15 人（男性 10 人女性 5 人）延べ 222 人

ウ ひきこもり家族交流会

ひきこもり問題に悩む家族がその経験や思いを共有することで、孤立感を和らげるとともに、それぞれが抱える問題への対応能力を向上するために、交流会を開催した。

日 時：

内 容：①ミニ講義 ②ウォーミングアップ（気分調べ） ③話し合い（家族交流）
④終わりの感想

対 象：当センターで個別相談を継続している家族、及び「ひきこもり家族教室」や「ひきこもり家族交流会」に参加経験のある家族

表 2 開催状況

開催日	ミニ講座	参加数
平成 30 年 4 月 15 日	なぜお子さんはひきこもるのでしょうか	3 家族 3 名
平成 30 年 6 月 17 日	ひきこもりに伴うこころの症状	5 家族 6 名
平成 30 年 8 月 19 日	お子さんの気持ち～当事者から家族へのメッセージ～（ひきこもり当事者サポーターの体験談）	8 家族 9 名
平成 30 年 10 月 21 日	親子の対話①	8 家族 9 名
平成 30 年 12 月 16 日	親子の対話②	4 家族 5 名
平成 31 年 2 月 17 日	お子さんの進む道を考える～進学、就労、自立、社会資源	6 家族 7 名

エ ひきこもり対策地域ネットワーク会議

ひきこもり相談支援に関する連携が効果的かつ適切に機能することを目的に、関係機関による連絡会を開催した。

平成 30 年度ひきこもり対策ネットワーク会議

日 時：平成 31 年 3 月 14 日 10 時～12 時

内 容：各保健福祉センターにおけるネットワーク会議から見える課題
自助グループ活動からの課題と要望
意見交換

参加者：教育、保健、福祉、労働関係機関職員等 32 名

オ ひきこもりサポーター養成研修

ひきこもり経験のある当事者や家族が自らの経験を生かしてひきこもりに悩む当事者や家族の支援をする、「ひきこもりサポーター」を養成するとともに、研修終了後、行政機関や団体等が行う相談や支援等にひきこもりサポーターとして活動することを希望した者を登録した。

日 時：平成31年2月2日（土）13：00～17：00

内 容：講義①：「ひきこもりに関する基礎知識」

講義②：「ひきこもりサポーターの活動について」

講義③：「自分の経験や思いを表現する」

演習①：「自分の経験談をまとめよう」

演習②：「自分の経験を発表しよう」

説明：「ひきこもりサポーターの登録と活動について」

修了証書交付、ひきこもりサポーター登録

受講及び登録者：当事者1人（うち登録者1人）、家族2人（うち登録者1人）

サポーター2人 計5名

カ ひきこもりサポーター派遣

保健所等が開催するひきこもり教室等において、ひきこもり家族や支援者が、その経験を聞き対応等を学ぶために、登録したひきこもりサポーター(当事者または家族)を派遣した。

表3 ひきこもりサポーターの派遣状況

派遣先	当事者		家族	
	回数	人数	回数	人数
南加賀保健福祉センター	1回	2人	—	—
石川中央保健福祉センター	2回	4人	2回	2人
能登中部保健福祉センター	1回	2人	—	—
能登北部保健福祉センター	1回	2人	1回	2人
金沢市元町福祉健康センター	1回	2人	—	—
若者サポートステーション石川	1回	1人	1回	1人
こころの健康センター	2回	3人	1回	1人
計	9回	16人	5回	6人

キ ひきこもりサポーターフォローアップ研修

登録しているひきこもりサポーターを対象に、活動上の不安の解消、実際の活動に関する情報の共有、サポーター同士の繋がり強化を図るために研修会を開催した。

日 時：平成 30 年 9 月 29 日（土）13：30～15：30

内 容：ひきこもりサポーターの活動状況について（報告）

グループワーク（活動に関する意見交換と交流）

参加者：当事者サポーター3名、家族サポーター4名

(8) 依存症関連問題指導事業

ア 特定相談指導

表1 相談指導状況

区 分	来 所 相 談			電話相談	その他 (メール・ 手紙)
	計	男	女		
アルコール問題	13 (6)	13 (6)	0 (0)	76	1
薬 物 問 題	4 (2)	4 (2)	0 (0)	8	4
ギャンブル問題	15 (7)	15 (7)	0 (0)	48	0
アルコール・薬物・ギャンブル以外	1 (1)	1 (1)	0 (0)	53	3
計	33 (16)	33 (16)	0 (0)	185	8

件数は延人数 (カッコ内は実人数)

イ 依存症教室

アルコールや薬物、ギャンブルへの依存と自殺には密接な関係があると指摘されている。アルコールや薬物、ギャンブル依存症の当事者、家族、支援者が、依存症に対する理解を深め、適切な対応や支援が行えることを目的に、依存症教室を開催した。

内 容：講義及び参加者からの質疑、講師からの助言

表2 依存症教室の開催状況

開催日	テーマ	講師	参加数(人)
H30年7月20日	依存症とは	新阿武山クリニック 西川 京子氏 (ソーシャルワーカー)	40
H30年10月11日	医療の視点から	県立高松病院 診療部長 日野 昌力氏 (精神科医)	30
H30年11月19日	回復について	岡部診療所 西念 奈津江氏 (ソーシャルワーカー)	31
H31年1月30日	借金問題	小松なごみ法律事務所 北川 茂樹氏 (弁護士)	25
計			126

ウ 事例検討会

名 称：(再掲) 第1回包括的支援のための多職種事例検討会

開催日：平成30年9月28日

内 容：親子でアルコール依存症、精神疾患のある家族の支援について

対 象：司法・福祉・行政等支援機関職員 27名

エ アディクション関連問題講演会

依存症に対する理解を深め、対応を学ぶことを目的に、公開講演会を開催した。

開催日：平成31年1月12日(土)

講 師：社会医療法人あいざと会藍里病院 副院長 吉田 精次氏(精神科医)

内 容：講演「治療に抵抗する大切な家族を上手く治療につなげるために
～CRAFTの活用法～」

対 象：一般県民、当事者、家族、保健・医療・福祉・司法関係従事者 128人

オ 依存症家族交流会(サンサンの会)

アルコール、薬物、ギャンブル依存症者の家族が、適切な理解と対応を学び、同じ立場で分かち合える場として、平成27年度から家族交流会を開催している。

対象及び人数：アルコール、薬物、ギャンブル依存症者の家族(実6人、延22人)

内 容：書籍『アルコール・薬物・ギャンブルで悩む家族のための7つの対処法
CRAFT』を用い、読み合わせとワーク、分かち合いを行う。

表3 サンサンの会の開催内容

回	テーマ
第1回	状況をはっきりさせよう
第2回	コミュニケーションを変える
第3回	望ましい行動を増やす
第4回	イネイブリングをやめるとは
第5回	あなた自身の生活を豊かにする

カ 依存症再発予防プログラム（いしかわ～ぷ）

アルコール、薬物依存症の当事者が、回復に向けて具体的かつ効果的に取り組むことを目的として、平成 27 年度から開始した。平成 30 年度は、集団プログラムを 1 クール 8 回セッションで年 3 クール開催した。

対 象：アルコールや薬物の使用について困っている本人で、その使用を止めたいと願う者

参加人数：実 2 人、延べ 22 人

内 容：テキスト「いしかわ～ぷ」（ISHIKAWA mental health center Relapse Prevention Program）を使用した集団プログラム

1 クールにつき 2 回、富山ダルク職員にリカバリングスタッフとして出席を依頼した。

表 4 いしかわ～ぷ各回のテーマ

回	テーマ
第 1 回	(1) アルコールや薬物が脳に与える影響 (2) 引き金と渴望
第 2 回	(1) 思考停止法 (2) 外的な引き金と内的な引き金
第 3 回	(1) 回復の地図 (2) 回復初期によく起こる問題とその解決方法
第 4 回	自助グループー信頼・正直さ・仲間
第 5 回	(1) 思考・感情・行動 (2) アルコールについて考える
第 6 回	(1) 再使用を防ぐためにーその 1ー (2) 再使用を防ぐためにーその 2ー
第 7 回	再使用を防ぐためにーその 3ー
第 8 回	強くなるより賢くなろう

(9) ドメスティック・バイオレンス抑止男性支援事業

平成 13 年 10 月の「配偶者からの暴力の防止及び被害者の保護に関する法律」(DV防止法)の施行に先立ち、平成 13 年 4 月から暴力を止めたい男性が相談できる場所として、個別相談窓口を開設している。

表 1 DV個別相談件数

区 分		計	電話相談	来所相談
DVに関する相談件数		418件	319件	99件(20)
うちDV抑止に関する相談		364件	272件	92件(17)
相 談 者 内 訳	加 害 男 性	292件	220件	72件(13)
	加 害 女 性	1件	1件	0件(0)
	被 害 女 性	62件	42件	20件(4)
	被 害 男 性	0件	0件	0件(0)
	加害男性の家族等	2件	2件	0件(0)
	被害女性の家族等	3件	3件	0件(0)
	そ の 他	4件	4件	0件(0)

※ () は実件数

(10) 自殺予防対策推進事業

ア 自殺予防に向けた普及啓発の充実

(ア) 自殺予防街頭キャンペーン等

9月10日の世界自殺予防デーにちなんで、毎年、9月10日から16日までの一週間で「自殺予防週間」として設定し、県民に自殺予防の呼びかけやうつ病等の精神疾患に対する正しい知識や相談窓口等の周知について普及啓発することを目的に街頭キャンペーンを実施した。

日 時 平成30年9月12日(月) 7:30~8:30
場 所 JR金沢駅東口、香林坊大和前
内 容 ・街頭での自殺予防の呼び掛け
・啓発用グッズの配布(オリジナル付箋、スティックのり、ティッシュ等)
・キャンペーンのぼりの設置

(イ) 自殺予防に関する普及啓発資料

こころの健康づくり講演会 「生きづらさを生き抜く」 チラシ 4000部

(ウ) 講演会

	第1回	第2回
日時	平成30年12月9日(土) 13:30~15:30	平成31年3月9日(土) 10:00~12:00
講師	角田 雅彦(こころの健康センター所長)	雨宮 処凛 氏(作家、活動家)
内容	講演「生きづらさを生き抜く」 グループワーク	講演「生きづらさを生き抜く」
参加者	126人	121人

イ 自殺予防のための相談・支援の充実

(ア) 民間団体との連携会議

自殺予防週間や月間事業の一環として、かけがえのない命をまもるネットワークいしかわ(以下の民間団体:石川県宗教連盟、NPO ささえる絆ネットワーク北陸、NPO しあわせの輪グループ、NPO 法人金沢あすなろ会、NPO 法人子どもの虐待防止ネッ

トワーク石川、公益社団法人金沢こころの電話、子ども夢フォーラム、一般財団法人メンタルケア協会石川事務所、ひまわりの会、小さな天使のママの会)と県が連携し、自殺対策に向けて事業の計画検討や情報交換を行った。

回数	日時	内容	団体数及び参加数
1回	H30.5.25	自殺予防週間関連講演会の事業計画検討	7団体 11人
2回	H30.6.27		9団体 13人
3回	H30.7.26		7団体 11人
4回	H30.11.8		6団体 9人
5回	H30.2.1		9団体 13人

(イ) 自殺対策地域連絡会議への支援

技術援助先	内容	人数
能登中部保健福祉センター	実施日：平成31年2月8日 自殺未遂者支援体制について 対象者：市町職員、警察	25人

(ウ) 包括的支援のための多職種事例検討会

平成26年度から自殺のさまざまな要因に関連が深い分野の専門家や支援者等多くの職種が、事例を通して支援のあり方を共有し連携して支援する仕組みを検討した。

参集者：弁護士、司法書士、医療機関職員、行政機関（警察・消防・市町）等

実施日	内容	人数
H30.9.28	事例検討①「親子でアルコール依存症・精神疾患のある家族支援について」 事例検討②「自殺願望のある男性への支援について」	27人
H30.11.29	事例検討「自宅にひきこもっている精神疾患の女性の支援について」	21人
H31.1.18	事例報告「転職を繰り返し、経済困窮にある男性への支援について」 事例検討「自殺未遂を繰り返すひきこもりの男性との関わりについて」	17人

ウ こころの健康づくりと早期発見・治療の促進

(ア) ゲートキーパー養成等事業

地域の中で悩んでいる人に気づき、必要な支援につなげるゲートキーパーの役割を担う人を育成し、自殺予防につなげることを目的とする。

a ゲートキーパー指導者研修会

地域において、自殺防止対策のリーダーとして活動できる人材を養成するとともに、これまで養成したゲートキーパーリーダーの更なる資質の向上のため研修会を開催した。

日時：平成 30 年 8 月 24 日（金）13:30～16:30

講師：こころの健康センター所長・精神科医 角田 雅彦

内容：講演及びグループディスカッション

「ゲートキーパー指導者にとって大切なこと」

参加者：行政機関の自殺対策担当者、職能団体職員、民間団体 22 人

b ゲートキーパー出前講座（※）

講師：こころの健康センター所長 角田 雅彦（精神科医）

	実施機関	対 象	参加数
県	石川県人事課	新任係長（3回）	150人
	石川県警察本部	警察官	15人
市町	小松市健康推進課	中海中学校中学2年生	45人
		安宅中学校中学2年生	70人
		芦城中学校中学2年生	147人
		国府中学校中学2年生	73人
		丸内中学校中学2年生	107人
	小松市中学校長会	小松市中学校校長、職員	20人
その他	石川縣市町村職員研修所	新任課長	60人
		新任課長補佐	50人
	金沢桜丘高校	教員	30人
	子ども夢フォーラム	チャイルドラインメンバー、一般参加者	35人

長寿いきがいセンター	受講者（3回）	188人
悲しみ110番	悲しみ110番相談員	18人
加賀市役所	職員	30人
加賀市医療センター	医療従事者、職員他	74人

※「(3) 普及啓発 イ 講師を派遣した講演会」よりゲートキーパー養成関連を再掲

(イ) 若い世代のこころの健康づくり事業

高校生や専門学校生等を対象にした自殺予防のためのこころの健康教育、ゲートキーパー研修等を実施した。

実施日	対象	参加数
H30.4.19	金沢大学医学部（学生、研修医）	6人
H30.5.17	金沢大学医学部（研修医）	2人
H30.5.31	金沢大学医学部（学生）	100人
H30.6.4	総合看護専門学校（学生）	50人
H30.6.13	金沢大学医学部（研修医）	3人
H30.6.18	総合看護専門学校（学生）	50人
H30.7.20	金沢大学医学部（研修医）	9人
H30.8.24	金沢大学医学部（学生）	3人
H30.9.12	金沢リハビリテーションアカデミー（学生）	60人
H30.9.21	金沢大学医学部（研修医）	3人
H30.10.19	金沢大学医学部（研修医）	3人

エ 自殺未遂者へのケアと再発防止対策の構築

自殺未遂者の再企図を防止するために、自殺未遂者の心理面に配慮した対応の理解と普及を図るとともに、必要に応じて精神科医療や地域の支援につなぐための連携や体制の構築に向けて、研修会や事例検討会等を実施した。

(ア) 救急告示医療機関職員等に対する研修会

実施日	内容	人数
平成 31 年 2 月 22 日 18:30～21:00	自殺未遂者支援体制整備研修 講演： 「自殺予防対策について～関係機関の連携のあり方～」 講師 国立大学法人 筑波大学 医学医療系 災害・地域精神 医学教授 高橋 祥友 先生 話題提供： 「自殺未遂者対応の現状報告」金沢市駅西消防局 小坂出張所 消防指令補 水本 明宏 氏 「自殺未遂者支援～身体科と精神科の連携の実践～」公益社団 法人石川勤労者医療協会 城北病院 医師 野口 卓夫 先生	53 人

参加者：医療機関（救急告示病院、精神科）、消防、行政機関職員

(イ) 救急隊員に対する研修（技術支援）

実施機関	内 容	人数
消防学校	平成 30 年 6 月 28 日 「メンタルヘルス」 対象者：消防新任職員	40 人
	平成 30 年 12 月 2 日 「メンタルヘルス」 対象者：消防職員幹部	16 人

オ 遺族等へのケアと支援施策の充実強化

(ア) 自死遺族交流会 (J 交流会)

家族を自死（自殺）で亡くした方達が、苦しい気持ちの語り合いや傾聴、互いを支え合う場として、平成 18 年 11 月より「自死遺族交流会」を開催している。

日 時：奇数月第 1 土曜日 14:00～16:00

場 所：金沢市内

回 数：6 回

参加数：実 11 人 延べ 26 人

(11) 子どもの心のケア推進事業

近年、ひきこもりや小児うつ、摂食障害、発達障害など様々な子どもの心の問題が社会的課題となっているが、子どもの心の問題の診療を担う医師が少なく、保護者はもとより保育所や学校等においてもその対応に苦慮している現状がある。

そこで、子どもの心の問題に対し、医療・教育・保健・福祉の各分野が同じ認識のもとで連携し、子どもの健全な発達への支援と、地域で安心して継続的な相談ができる体制の構築を目的として、平成20年度から「いしかわ子どもの心のケアネットワーク事業」を開始し、平成24年度からは「子どもの心のケア推進事業」として事業を行っている。

ア 子ども心のケア相談事業

電話や来所面接による個別相談を通じ、子どもの心の問題で悩む家族や関係者が安心して相談でき、的確な支援を受けられる機関を紹介するなどコーディネート機能を実施した。

(ア) 電話相談実績

表1 電話相談件数と相談者の内訳

(人)

年代	延件数	相談者内訳		
		父	母	その他 (**)
幼児	3		3	
小学生	20	2	16	2
中学生	42	2	27	13
高校生	122	11	63	48
その他 (*)	13	1	5	7
総計	200	16	114	70

その他 (*) : 義務教育後、高等学校に在籍していない18歳以下の者

その他 (**): 本人、祖父母、学校等

表2 電話相談内容(延)

	発達上の問題	不登校	ひきこもり	性格・行動・暴力	家庭内の問題	出産育児	身体上の悩み	摂食・性格行動・対人関係	依存関係	性・日常生活等不安	病気の不安等	精神障害者への対応	情報提供・その他	計
幼児	2	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	3
小学生	5	5	0	0	2	2	1	1	2	0	0	0	2	20
中学生	11	7	2	2	2	1	2	3	5	4	0	0	3	42
高校生	5	44	9	10	12	1	0	12	7	16	0	0	6	122
その他	0	4	2	0	4	1	0	0	0	2	0	0	0	13
計	23	60	13	12	20	6	3	16	14	22	0	0	11	200

(イ) 来所相談

表3 来所相談件数と相談者内訳

(人)

年代	実件数	延件数	相談者内訳 (重複あり)			
			父	母	本人	その他(**)
幼児	0	0	0	0	0	0
小学生	9	17	0	17	17	0
中学生	13	31	3	18	17	12
高校生	41	119	8	107	68	19
その他 (*)	5	5	0	1	4	4
総計	68	172	11	143	106	35

その他 (*) : 義務教育後、高等学校に在籍していない18歳以下の者、 その他 (**): 祖父母、学校等

表4 来所相談内容 (実件数内訳)

	発達上の問題	不登校	ひきこもり	性格・行動・暴力	家庭内の問題	出産育児	身体上の悩み	摂食・性格行動・対人関係	依存関係	性・日常生活等不安	病気の不安等	精神障害者への対応	情報提供・その他	計
幼児	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
小学生	9	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	9
中学生	3	6	0	0	0	0	0	3	1	0	0	0	0	13
高校生	1	24	0	1	0	0	0	8	0	4	0	0	3	41
その他	4	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	5
計	17	30	0	1	1	0	0	11	1	4	0	0	3	68

表5 来所相談の経路（実件数内訳）

	直接	医療機関からの紹介	学校からの紹介	その他	総計
幼 児	0	0	0	0	0
小学生	0	5	4	0	9
中学生	7	5	0	1	13
高校生	8	0	30	3	41
その他(*)	1	0	0	4	5
計	16	10	34	8	68

その他（*）：義務教育後、高等学校に在籍していない18歳以下の者

表6 来所相談の処遇状況及び他機関との連携状況（実件数内訳）

	対応について 助言	継続面接	他機関へ紹介 (病院等)	総計	他機関と連携 (※再掲)
幼 児	0	0	0	0	0
小学生	0	7	2	9	5
中学生	4	9	0	13	1
高校生	17	21	3	41	20
その他(*)	5	0	0	5	4
計	26	37	5	68	30

その他（*）：義務教育後、高等学校に在籍していない18歳以下の者

※再掲：医療機関・保健福祉センター・市町・学校・その他機関

イ 子どもの心の支援者研修会

(ア) 子どものこころの問題に携わる関係者育成セミナー

目 的：医療、教育、保健、福祉等、子どもの心の問題に関する治療及び支援に携わる各分野の関係者が一堂に会し、相談対応技術のスキルアップ及び連携の強化を図る。

参集者：子どもの心の問題に携わる医療・保健・教育・福祉等関係者

内 容：講演会及び事例検討会

<1回目>

日時：平成30年8月4日（土）13:30～15:30

講師：岡山大学大学院保健学研究科 教授 中塚 幹也（精神科医）

テーマ：「性同一性障害の生徒に向き合う～封じ込められた子どもの心を聴く～」

参加者数：53人

<2回目>

日時：平成30年9月8日（土）13:30～15:30

講師：国際医療福祉大学福岡保健医療学部 教授 小牧 元（精神心療内科医）

テーマ：「摂食障害が心身に与える影響～最新の治療と支援について～」

参加者数：35人

<3回目>

日時：平成30年12月8日（土）13:30～15:30

講師：一般社団法人 チャイルドフット・ラボ代表理事 藤原 里美

（保育士・臨床発達心理士）

テーマ：「保育士のためのペアレントトレーニング」

参加者数：45人

<4回目>

日時：平成31年1月19日（土）13:30～15:30

講師：愛知県心身障害者コロニー中央病院児童精神科医長

あいち発達障害者支援センター 副センター長 吉川 徹（精神科医）

テーマ：「発達障害とゲーム・ネット・スマホ～デジタル機器とのつきあい方を考える～」

参加者数：92人

<5回目>

日時：平成31年3月2日（土）13:00～14:30

講師：実践女子大学生生活文化学科 教授 塩川 宏郷（小児科医）

テーマ：「幼児期からの思春期の発達障害～家庭・保育所・教育の連携」

参加者数：33人

(イ) 発達障害等早期支援関係者セミナー

目 的：幼児・小学校低学年の発達障害等の支援に携わる各分野の関係者が一堂に会し、相談対応技術のスキルアップ及び連携の強化を図る。

参集者：保育士・幼稚園教諭、小学校教諭、保健師等

a 講演会

<1回目及び2回目>

日時：平成31年11月23日（土）及び11月24日（日）13:30～17:00

・ミニ講座 発達障害対応力向上研修報告

講師：県立高松病院 副院長 栃本真一（精神科医）

金沢大学付属病院 神経科精神科 助教 小野 靖樹（精神科医）

・実践広告

講師：穴水町健康推進課 母子保健係長 永田 恵理（保健師）

まるおかクリニック 院長 丸岡 達也（小児科医）

穴水町教育委員会 事務局次長 朝倉 恵子

・講演

講師：国立成育医療研究センター 副院長 小枝 達也（小児科医）

テーマ：「幼児期の発達障害の早期発見と早期診断の意義」

参加者数：1回目：82人、2回目：50人

b 学習会・グループワーク（4回シリーズ）

日時：平成31年8月8日（水）、8月29日（水）、9月19日（水）、12月5日（水）

講師：金沢子ども医療福祉センター 上野 良樹（小児科医）

グループファシリテーター：上野 幸子（スクールワーカー）

参加者数：72人

ウ 子どもの心の支援事例検討会

目 的：支援内容の検討及び情報共有により、子どもへの総合的な支援を実施し、子どもの心を診る専門医、専門家及び関係者の育成強化を図る。

(ア) 未就学児等事例検討会

- ・開催回数：1回
- ・助言者：実践女子大学生生活文化学科 教授 塩川 宏郷（小児科医）
- ・参加者：子どもの心の問題に携わる医療・教育・保健・福祉関係者 計 33人

(イ) 児童・青年期事例検討会

- ・開催回数：1回
- ・助言者：愛知県心身障害者コロニー中央病院 吉川 徹（精神科医）
- ・参加者：子どもの心の問題に携わる医療・教育・保健・福祉関係者 計 92人

(ウ) 精神科・小児科医師等事例検討会

- ・開催回数：4回
- ・助言者：第1回 岡山大学大学院 中塚 幹也（精神科医） 13人
- 第2回 国際医療福祉大学 小牧 元（精神診療内科医） 9人
- 第3回 国立成育医療研究センター 小枝 達也（小児科医） 14人
- 第4回 愛知県心身障害者コロニー中央病院
吉川 徹（精神科医） 12人
- ・参加者：子どもの心の問題に携わる精神科・小児科・産婦人科等医師 計 48人

エ 中央で開催された高度な研修・会議への参加

(ア) 子どもの心の診療ネットワーク事業連絡会議（1回目）

日時：平成30年7月12日（木）

会場：東京都

(イ) 子どもの心の診療ネットワーク事業連絡会議（2回目）

日時：平成31年1月18日（金）

会場：東京都

オ 普及啓発

子どもの心の問題に関する診療及び相談機関の情報を新たに収集し、小冊子「子どもの心の診療・相談機関情報ガイド（精神科・診療内科・小児科等標榜医療機関及び相談機関：平成 29 年 3 月発行）」を発刊し、周知を図っている。

また、子どもの心の診療ネットワーク事業中央拠点病院事務局（国立成育医療研究センターこころの診療部内）が作成する「子どもの心の診療機関MAP」に県内の精神科及び小児科の各医療機関の診療情報を掲載するため、各々の機関に協力依頼を行い、情報提供を行っている。

(12) 精神障害者地域生活支援事業

精神科病院に長期にわたり入院している精神障害者のうち、受け入れ条件が整えば在宅生活が可能と見込まれる人、及び入院期間が1年未満の人であっても地域生活への支援を行わなければ社会的な入院の長期化が見込まれる人への退院促進を図る。

ア ピアサポーターの養成研修会

長期入院患者等に対し、退院を促進し、地域での在宅生活に向けて仲間をサポートできるピアサポーターを養成するとともに、これまで養成したピアサポーターのフォローアップとして研修会を開催した。

日 時：平成30年10月12日（金）13:30～16:30

場 所：石川県こころの健康センター研修室

参加者：ピアサポーターの活動を希望する精神障害者、ピアサポーター、精神科病院・クリニックが運営する相談支援事業所職員、精神科病院職員（退院後生活環境相談員、精神保健福祉士等）、地域体制整備コーディネーター、保健所職員等 33人

内 容：講義1 「ピアサポーターの基礎知識」
講義2 「富山県における実践報告」
「～ピアサポーターを活用した地域移行の取り組み～」
講師：富山県政新保険福祉士協会
精神保健福祉士 小原 智恵 氏
ピアサポーター 毛利 公宣 氏
意見交換（グループワーク）

イ ピアサポーターの派遣

精神科病院、相談支援事業所と連携して、登録しているピアサポーターを派遣し、入院患者の地域生活への動機付けのための病院訪問や外出時の同行支援等を通じて退院促進を図った。

(ア) ピアサポーターの登録人数：1人

(イ) ピアサポーターの派遣回数及び人数

派遣内容等	回 数	人 数
医療機関への派遣	5回	11人
ピアサポーター養成研修	1回	1人

3 支援課（発達障害支援センター）業務

(1) 発達障害児(者)及び家族等に対する相談支援・発達支援・就労支援

発達障害児(者)に関する相談全般で1～数回の相談で終了する「相談支援」、心理機能の適正な発達を支援し、円滑な社会生活を促進するために発達障害の特性に対応して支援する「発達支援」、就労に関して支援する「就労支援」を行っている。

※支援は「相談支援」から始まり、支援計画を立てて、継続的支援である「発達支援」「就労支援」に切り替える。

表1 年齢別

年齢区分（歳）		0～3	4～6	7～12	13～15	16～18	19～	不明	合計
相談支援	実人員	20	32	87	30	33	278	110	590人
	延件数	22	50	153	41	90	631	123	1,110件
発達支援	実人員	52	127	52	12	16	38	0	297人
	延件数	800	2,022	607	156	211	343	0	4,139件

年齢区分（歳）		18歳未満	18歳以上	合計
就労支援	実人員	0	78	78人
	延件数	0	1,044	1,044件

表2 相談支援の主な相談内容

相談の対象となっている児(者)が発達障害かどうか知りたい	299
現在の生活に関することや家庭で家族ができることを知りたい	426
利用できる制度について知りたい	63
診断・相談・支援を受けられる機関について知りたい	280
現在通学している学校、利用しているサービス等に関する相談をしたい	96
進路や将来の生活に関する相談をしたい	72
対応困難な状況の改善について相談したい	23
今後の就労について相談したい	126
現在勤めている職場に関する相談をしたい	58
その他	261
合計	1,704件

※相談時毎の相談内容を計上。複数チェックあり

表3 相談方法

区 分	来所	訪問	電話	その他	合計
相談支援	317	2	733	58	1,110件
発達支援	774	3,230	118	17	4,139件
就労支援	642	6	374	22	1,044件
合 計	1,733	3,238	1,225	97	6,293件

その他：メール、FAX、文書等を含む

表4 障害種別

区 分	相談支援	発達支援	就労支援	合計
自 閉 症	7	7	2	16
アスペルガー症候群	12	4	1	17
広汎性発達障害	87	83	66	236
A D / H D	44	11	5	60
L D	3	1	0	4
そ の 他	57	25	3	85
不明（未診断含む）	380	166	1	547
合 計	590人	297人	78人	965人

広汎性発達障害：高機能自閉症、自閉症スペクトラム障害含む

表5 相談者

区 分	相談支援	発達支援	就労支援	合計
本人	446	2,088	757	3,291
保護者・親族	506	1,995	131	2,632
保育所・幼稚園	1	9	0	10
小学校	2	2	0	4
中学校	0	0	0	0
高等学校	3	3	0	6
特別支援学校	1	0	0	1
専門学校・短大・大学	0	2	2	4
市町教育委員会	1	4	0	5
市町保健センター	1	1	0	2
保健所	3	0	1	4
児童相談所	4	0	1	5
行政	21	8	5	34
医療機関	75	15	26	116
企業	2	0	0	2
公共職業安定所	2	0	8	10
障害者職業センター	5	0	8	13
地域若者サポートセンター	1	0	0	1
障害者就業・生活支援センター	1	2	9	12
相談支援事業所	5	4	37	46
就労移行支援事業所	1	2	35	38
就労継続支援事業所	1	0	17	18
その他	28	4	7	39
合計	1,110件	4,139件	1,044件	6,293件

行政：保健所、市町保健センターを除く

表6 支援回数別実人員

区 分	1～10回	11回以上	合計
発達支援（実人員）	214	83	297人
就労支援（実人員）	48	30	78人

表7 支援期間別実人員

区 分	3ヶ月未満	3ヶ月～ 6ヶ月未満	6ヶ月～ 1年未満	1年以上	合計
発達支援（実人員）	21	22	38	216	297人
就労支援（実人員）	2	1	1	74	78人

(2) 精神科医による相談事業

嘱託の精神科医による相談を月1回実施している。相談後の支援としては、センターによる継続支援や、必要に応じて医療機関等への紹介を実施している。

相談事業結果

実施回数		10回
来所実人員		17人
来所延人員		17人
年齢別	0～3歳	0
	4～6歳	1
	小学生	3
	中学生	0
	16～18歳	1
	19歳～	12
	合計	17
診察結果	障害なし	0
	経過観察(判定保留)	0
	自閉症	0
	アスペルガー症候群	0
	広汎性発達障害	15
	A D / H D	0
	知的障害	0
	その他	2
合計	17	
支援内容	センターで継続支援	14
	医療機関紹介	0
	療育施設紹介	0
	その他の機関紹介	0
	他機関で管理中	3

広汎性発達障害：高機能自閉症、自閉症スペクトラム障害含む

(参考)

年度別各支援件数の推移

年度	相談支援	発達支援	就労支援	計
H26	2,275 (472)	4,104 (304)	1,261 (76)	7,640 (852)
H27	1,745 (562)	4,423 (328)	1,365 (99)	7,533 (989)
H28	1,711 (593)	4,501 (343)	1,134 (88)	7,346 (1,024)
H29	1,288 (647)	4,168 (310)	1,184 (89)	6,640 (1,046)
H30	1,110 (590)	4,139 (297)	1,044 (78)	6,293 (965)

注：() は内数で実人員

(3) 青年期グループ活動

平成 17 年 10 月より、週 1 回午前 10 時から午後 3 時まで、青年期の当事者を対象としたグループ活動を実施している。

表 1 活動状況

実施回数	実人員	延人員	内 容
46 回	10 人	154 人	対人マナー、社会見学、ストレス解消法、調理実習等

(4) 就労者グループ活動

平成 22 年 7 月より、月 1 回午後 7 時から 8 時半まで、就労者の当事者を対象としたグループ活動を実施している。

表 1 活動状況

実施回数	実人員	延人員	内 容
12 回	8 人	49 人	談話会等

(5) 親のつどい

平成 19 年 10 月より、月 1 回午後 1 時半から 3 時半まで、青年期にある当事者の保護者を対象として実施している。

平成 21 年 12 月より、月 1 回午前 10 時から 12 時まで、学齢期にある当事者の保護者を対象として実施している。

表 1 実施状況

区 分	実施回数	実人員 (家族)	延人員	内 容
青年期	12 回	5 組	49 人	ピアカウンセリング、話し合い等
学齢期	1 回	7 組	7 人	ピアカウンセリング、話し合い等

(6) 関係機関等との調整会議

表 1 開催状況

内容	発達障害 全般	療育	医療	教育	保健	福祉	就労	自立 支援	その他	合計
回数	9	3	0	0	2	0	2	4	1	21 回

(7) 機関コンサルテーション

関係機関に対する障害児（者）への関わり方等についての助言を実施している。

表1 対象機関及び支援内容

区 分		実支援施設数	延支援件数
対象機関	小 学 校	0	0
	中 学 校	0	0
	高 等 学 校	0	0
	特 別 支 援 学 校	0	0
	専 門 学 校 ・ 大 学	0	0
	市 町 教 育 委 員 会	1	2
	市 教 育 研 究 所	1	12
	障 害 者 職 業 セ ン タ ー	0	0
	相 談 支 援 事 業 所	1	2
	就 労 移 行 支 援 事 業 所	1	1
	若 者 サ ポ ー ト セ ン タ ー	0	0
	市 町	1	3
	放 課 後 児 童 ク ラ ブ	0	0
	医 療 機 関	0	0
	保 健 福 祉 セ ン タ ー	0	0
	そ の 他 (企 業 等)	1	2
	合 計	6 カ所	22 件
	支援内容	障 害 特 性 の 理 解	
指 導 ・ 対 応 方 法 の 助 言			18
心 理 査 定			0
事 例 検 討			2
研 修 会			0
そ の 他			2
合 計			22 件

(8) 個別支援のための調整会議

関係機関による会議を開催し、障害児（者）に関して、共通認識を図り、よりよい支援を検討している。

表1 年齢別

区分	0～6歳	7～12歳	13～15歳	16～18歳	19歳以上	合計
実人員	0	4	2	1	25	32人
延件数	0	4	2	3	47	56件

表2 障害種別

区分	実支援人員
自閉症	0
アスペルガー症候群	1
広汎性発達障害	52
A D / H D	1
L D	0
その他	2
不明（未診断含む）	0
合計	56人

広汎性発達障害：高機能自閉症、自閉症スペクトラム障害含む

表3 会議テーマ

内容	開催回数
家庭生活	2
健康・医療	0
教育	6
保育	0
療育支援	0
進路相談	3
自立支援	18
就労支援	25
その他	2
合計	56回

(9) 普及啓発及び研修

発達障害児（者）の理解及び支援を積極的に進めるため、一般を対象とした普及啓発及び関係機関の職員を対象とした研修会を実施している。

また、関係機関からの講演依頼について、講師を派遣している。

表1 研修会及び公開講演会の開催状況

研修名	平成30年度発達障害者等相談支援従事者育成研修（3日間研修）	
月日 場所	平成30年7月23日 石川県地場産業振興センター	平成30年8月13日 生涯学習センター能登分室
内容	研修Ⅰ 講演「それぞれのライフステージでの発達障害受容 ～本人と家族を支える～」	
講師	日本ポーターズ協会石川湖南支部 小坂 正栄 氏	
参加者	保健、福祉、医療、労働等 の関係機関での相談従事者 43人	保健、福祉、医療、労働等 の関係機関での相談従事者 23人
月日 場所	平成30年9月5日 石川県地場産業振興センター	平成30年9月28日 生涯学習センター能登分室
内容	研修Ⅱ 講演「それぞれのライフステージにおける発達障害支援～支援方法について学ぶ～」 演習（グループワーク）	
講師	障がい児対象児童クラブ「すずかけクラブ」支援職員、相談支援事業所「きずな」 相談支援専門員 主任 笠合 竜明 氏	
参加者	保健、福祉、医療、労働等 の関係機関での相談従事者 42人	保健、福祉、医療、労働等 の関係機関での相談従事者 20人
月日 場所	平成30年11月26日 石川県地場産業振興センター 本館 第3研修室	
内容	研修Ⅲ ① 講演「就労支援機関での取り組み」 ② 講演「発達障害者をもつ人の就労と就労支援について」	
講師	① 就労移行支援事業所リエゾン 所長 中山 肇 氏 ② 社会福祉法人 横浜やまびこの里 相談支援事業部 部長 志賀 利一 氏	
参加者	保健、福祉、医療、労働等の関係機関での相談従事者 59人	

研修名	平成30年度発達障害者等相談支援従事者育成研修（上級研修）
月日 場所	平成30年6月29日 石川県こころの健康センター 研修室
内容	① 講義「発達障害者支援法について」 ② 講義「発達障害のある人への相談支援」 ③ 講義「発達障害とは」
講師	① 石川県障害保健福祉課 係主査 乙部 創 氏 ② 発達障害者支援センターパース 統括課長 川畑 治代 氏 ③ やすもと医院 精神科医 安本 真由美 氏
参加者	保健、福祉、相談機関等の相談支援従事者 28人
月日 場所	平成30年10月3日 石川県こころの健康センター 研修室
内容	講義「アセスメントツール研修（概論）」
講師	臨床心理士 滋野井 圓 氏
参加者	保健、福祉、相談機関等の相談支援従事者 26人
月日 場所	平成30年10月18日 石川県庁
内容	講演「WAIS-Ⅲ、WAIS-Ⅳ検査結果と青年期、成人期の支援の橋渡し」
講師	日本臨床発達心理士会茨城支部 支部長 大六 一志 氏
参加者	保健、福祉、相談機関等の相談支援従事者 15人 *アセスメントツール研修会を講義の一コマに
月日 場所	平成30年7月6日 石川県こころの健康センター 研修室
内容	講義①「ライフステージ別の現状～幼児・学齢期～」 講義②「ライフステージ別の現状～思春期以降～」
講師	日本ポーター協会石川湖南支部 小坂 正栄 氏
参加者	保健、福祉、相談機関等の相談支援従事者 26人
月日 場所	平成30年10月3日 石川県こころの健康センター 研修室
内容	講義「就労関係支援機関の紹介および当事者の体験発表」
講師	就労移行支援事業所えがお工房8たんと 山田 武利 氏 石川障害者職業センター 所長 矢代 美砂子 氏、当事者 1名
参加者	保健、福祉、相談機関等の相談支援従事者 25人

月日 場所	平成30年8月30日 石川県地場産業振興センター 本館 第1研修室
内容	講演「発達障害のある成人の人たちへの支援」
講師	信州大学医学部子どものこころの発達医学教室 教授 精神科医 本田 秀夫 氏
参加者	保健、福祉、相談機関等の相談支援従事者 26人 *関係機関研修会を講義の一コマに
月日 場所	平成30年7月～平成30年9月 計6回 石川県発達障害支援センター
内容	実習① 当センターが実施している当事者グループ活動への参加
講師	石川県発達障害支援センター職員
参加者	保健、福祉、相談機関等の相談支援従事者 計26人
月日 場所	平成30年10月～平成31年1月 計4回 石川県発達障害支援センター
内容	実習② 石川県発達障害支援センターの機能（個別相談）について ・個別相談の流れについて説明 ・ケースカンファレンスに参加、質疑や意見交換
講師	石川県発達障害支援センター職員
参加者	保健、福祉、相談機関等の相談支援従事者 計22人
月日 場所	平成30年11月12日 石川県こころの健康センター 研修室
内容	実習③ 当事者の声を聞く ・講演『「生きづらさの言語化」から見えてきた支援』
講師	大人の発達障害を明るく語る会 ここらぼ 代表 みっと 氏
参加者	保健、福祉、相談機関等の相談支援従事者 24人
月日 場所	平成30年11月30日 石川県こころの健康センター 研修室
内容	実習④ 発達障害がある人の支援方法について学ぶ(講義、ロールプレイ等) ・実際の相談場面を疑似体験することで相談技術の向上をはかる
講師	障がい児対象児童クラブ「すずかけクラブ」支援職員、相談支援事業所「きずな」 相談支援専門員 主任 笠合 竜明 氏
参加者	保健、福祉、相談機関等の相談支援従事者 計22人

研修名	平成30年度発達障害者等相談支援従事者育成研修（フォローアップ研修）
月日 場所	平成30年10月31日 10:00～12:00 石川県地場産業振興センター 本館 第7研修室
内容	講義「発達障害とその他の精神疾患」
講師	石川県立高松病院 副院長 栃本 真一 氏
参加者	発達障害者等相談支援従事者育成研修（上級研修）修了者 9人
月日 場所	平成30年10月31日 13:00～16:00 石川県地場産業振興センター 本館 第7会議室
内容	情報交換会「県内における発達障害児者支援体制の現状と課題及び今後の可能性について話し合う」
講師	石川県発達障害支援センター職員
参加者	発達障害者等相談支援従事者育成研修（上級研修）修了者 9人
月日 場所	平成30年12月 計 2回 石川障害者職業センター、石川療育センター、金沢公共職業安定所、 金沢産業技術専門学校ワークサポート科、アピタ金沢
内容	発達障害児者が利用できる社会資源施設の見学
講師	各施設職員
参加者	発達障害者等相談支援従事者育成研修（上級研修）修了者 計 8人
月日 場所	平成30年12月～平成31年2月 計 3回 石川県発達障害支援センター
内容	事例検討会
講師	石川県発達障害支援センター職員
参加者	発達障害者等相談支援従事者育成研修（上級研修）修了者 計7人

研修名	平成30年度アセスメントツール基礎研修
月日 場所	平成30年10月18日 石川県庁
内容	講演「WAIS-Ⅲ、WAIS-Ⅳ検査結果と青年期、成人期の支援の橋渡し」
講師	日本臨床発達心理士会茨城支部 支部長 大六一志 氏
参加者	保健、福祉、医療、教育、相談機関等の発達障害児者支援に携わる職員（66人） 発達障害者等相談支援従事者育成研修（上級研修）受講者（15人） 受講者計 81人

研修名	平成30年度石川県発達障害者等相談支援従事者育成研修 フォローアップ研修公開講演会
月日 場所	平成30年10月31日 石川県地場産業振興センター 本館 第7研修室
内容	講演「発達障害とその他の精神疾患」
講師	石川県立高松病院 副院長 栃本 真一 氏
参加者	発達障害者等相談支援従事者育成研修（上級研修）修了者 （9人） *フォローアップ研修の一コマを支援者向けに公開 県市町障害・防災担当課職員、相談支援事業所職員、移行支援事業所職員、 教員、医療関係者等、発達障害児者の相談支援に携わる職員 （53人） 受講者計 62人

研修名	平成30年度石川県発達障害支援センター関係機関研修会
月日 場所	平成30年8月30日 石川県地場産業振興センター 本館 第1研修室
内容	講演「発達障害のある成人の人たちへの支援」
講師	信州大学医学部子どもこころの発達医学教室 教授 精神科医 本田 秀夫 氏
参加者	保健、福祉、医療、教育、相談機関等の発達障害児者支援に携わる職員（138人） 発達障害者等相談支援従事者育成研修（上級研修）受講者（26人） 受講者計 164人

研修名	平成30年度石川県発達障害者支援センター公開講演会
月日 場所	平成31年3月23日 石川県地場産業振興センター 新館 コンベンションホール
内容	講演「学校不適応の要因として忘れてはいけない学習障害 －読字障害（ディスレクシア）・自閉症スペクトラム・注意欠如多動症の相互関係 およびその支援－」
講師	平谷こども発達クリニック 院長 平谷 美智夫 氏
参加者	医療、保健、福祉、教育、相談機関等の職員、保護者、一般 187人

表2 講師を派遣した講演会及び研修会開催状況

日時	会場	内容	対象及び人数
平成30年4月4日	発達障害支援センター	ハローワーク、労働局職員への研修	職員 6人
平成30年5月20日	地場産業振興センター	障害支援区分認定にかかる医師意見書記載説明会	医療従事者 80人
平成30年5月28日	県庁	健やかふれあい保育事業の対象児童認定に係る判定会	対象児童 125人
平成30年6月6日	発達障害支援センター	金沢工業大学臨床心理研修	大学生 8人
平成30年6月4日	ワークサポート科	発達障害の理解と精神保健福祉手帳の活用について	学生・保護者 13人
平成30年6月20日	発達障害支援センター	精神保健福祉医療担当者研修会	保健福祉医療関係者 91人
平成30年7月10日	地場産業振興センター	強度行動障害支援者養成研修	支援関係者 250人
平成30年8月3日	発達障害支援センター	養護教諭健康相談活動事例研究会	養護教諭 9人
平成30年10月10日	発達障害支援センター	岡山県議会教育再生・子ども応援特別委員会視察	視察関係者 14人
平成30年11月2日	家庭裁判所	家庭裁判所調査官等研修会	裁判所調査官等 13人
平成30年11月8日	ワークサポート科	ワークサポート科講義	学生 10人
平成30年12月5日	発達障害支援センター	保育専門学校専攻科講義	学生 2人
平成30年12月26日	発達障害支援センター	養護教諭健康相談活動事例研究会	養護教諭 16人
平成31年2月2日	白山市発達相談センター	白山市子どもと親を支える講演会	一般 22人
平成31年2月23日	元町福祉健康センター	大人の発達障害を明るく語る会 ここらば月例会	発達障害者等 26人
平成31年2月27日	金沢市役所	金沢市障害者差別解消支援地域協議会	協議会参加者 31人

Ⅲ 資 料

1 精神保健福祉相談状況(電話・来所・訪問)

(1)相談区分別相談件数

区分		合計 (延)	老人精 神保健	社会復帰	アルコール	薬物	ギャンブル	思春期	心の健 康づくり	摂食障害	てんかん	その他
南加賀 保健福 祉セン ター	電話	1,649	91	786	33	7	5	13	441	1	0	272
	来所(実95)	190	10	83	9	0	2	5	50	0	0	31
	訪問(実51)	115	2	60	3	0	0	0	31	0	0	19
石川中 央保健 福祉セン ター	電話	1,998	81	1,209	42	13	2	63	399	13	0	176
	来所(実113)	172	13	68	3	1	0	9	71	1	0	6
	訪問(実69)	242	9	128	2	3	0	1	58	0	0	41
能登中 部保健 福祉セン ター	電話	1,070	73	466	28	0	0	79	224	0	106	94
	来所(実85)	204	6	65	11	0	0	10	76	0	14	22
	訪問(実51)	188	8	104	4	0	0	26	32	0	2	12
能登北 部保健 福祉セン ター	電話	566	10	390	5	1	1	14	29	3	1	112
	来所(実31)	59	2	37	4	0	1	3	9	1	0	2
	訪問(実12)	44	0	40	2	0	0	0	2	0	0	0
金沢市 福祉健 康セン ター	電話	3,865	70	2,778	99	49	0	52	804	3	4	6
	来所(実268)	450	24	198	8	0	0	9	207	2	0	2
	訪問(実192)	634	16	531	9	5	0	10	63	0	0	0
保健所 計	電話	9,148	325	5,629	207	70	8	221	1,897	20	111	660
	来所(実592)	1,075	55	451	35	1	3	36	413	4	14	63
	訪問(実375)	1,223	35	863	20	8	0	37	186	0	2	72
こころの 健康セン ター	電話	6,691	60	4,303	76	8	48	179	1,523	22	1	453
	来所(実315)	1,219	0	113	13	4	15	152	717	0	0	59
	訪問(実4)	18	0	14	0	0	0	3	1	0	0	0

(2)年齢区分別相談件数

保健所		区分	合計	0~9	10~19	20~29	30~39	40~49	50~59	60~69	70~	不明
南加賀保健福祉センター	電話	延	1,649	0	41	199	480	310	356	151	86	26
	来所	実	95	0	8	13	21	18	16	10	9	0
		延	190	0	9	31	44	55	23	18	10	0
	訪問	実	51	0	2	7	16	13	5	5	3	0
		延	115	0	4	15	41	27	16	7	5	0
石川中央保健福祉センター	電話	延	1,998	5	117	185	643	463	333	116	106	30
	来所	実	113	1	16	13	29	24	12	10	8	0
		延	172	3	22	19	58	31	12	12	15	0
	訪問	実	69	0	3	7	14	19	14	5	7	0
		延	242	0	4	31	37	79	46	20	25	0
能登中部保健福祉センター	電話	延	1,070	0	88	163	98	260	174	121	102	64
	来所	実	85	0	9	7	12	18	17	10	11	1
		延	204	0	11	40	30	43	30	32	15	3
	訪問	実	51	0	12	2	4	10	11	5	5	2
		延	188	0	26	10	11	47	55	25	11	3
能登北部保健福祉センター	電話	延	566	0	16	25	53	38	62	311	43	18
	来所	実	31	0	3	7	6	4	5	3	3	0
		延	59	0	3	13	7	4	20	7	5	0
	訪問	実	12	0	0	1	1	0	6	3	1	0
		延	44	0	0	9	1	0	17	5	12	0
金沢市福祉健康センター	電話	延	3,865	0	172	318	633	1,053	975	337	335	42
	来所	実	268	0	14	44	54	66	44	22	24	0
		延	450	0	18	68	102	102	71	31	58	0
	訪問	実	192	0	8	16	22	54	45	21	26	0
		延	634	0	28	42	46	234	147	57	80	0
保健所計	電話	延	9,148	5	434	890	1,907	2,124	1,900	1,036	672	180
	来所	実	592	1	50	84	122	130	94	55	55	1
		延	1,075	3	63	171	241	235	156	100	103	3
	訪問	実	375	0	25	33	57	96	81	39	42	2
		延	1,223	0	62	107	136	387	281	114	133	3
こころの健康センター	電話	延	6,991	13	205	336	1,401	1,559	2,394	329	107	647
	来所	実	315	3	73	99	71	38	18	8	3	2
		延	1,219	3	239	405	364	113	60	29	4	2
	訪問	実	4	0	0	0	0	2	1	0	1	0
		延	18	0	3	1	0	3	3	0	8	0

(3) 診断区別相談件数

区分		合計	F0	F1	F2	F3	F4	F5	F6	F7	F8	F9	G40	その他	保留	不明
南加賀保健福祉センター	来所 実	95	1	4	14	18	9	1	1	1	9	0	0	0	3	34
	延	190	1	5	22	36	18	3	2	26	18	0	0	0	5	54
	訪問 実	51	1	3	13	11	7	1	1	1	4	0	0	0	1	8
	延	115	2	5	36	22	27	1	2	1	7	0	0	0	2	10
石川中央保健福祉センター	来所 実	113	1	1	12	10	6	0	1	1	3	0	2	1	65	10
	延	172	2	2	15	14	13	0	1	1	3	0	2	1	102	16
	訪問 実	69	3	2	17	10	2	0	0	2	5	0	0	0	26	2
	延	242	4	6	85	49	10	0	0	2	5	0	0	0	73	8
能登中部保健福祉センター	来所 実	85	4	5	17	8	2	0	1	1	4	2	2	0	0	39
	延	204	5	6	38	22	2	0	7	1	11	19	14	0	0	79
	訪問 実	51	4	1	17	4	2	0	0	0	2	0	1	0	0	20
	延	188	4	3	100	12	6	0	0	0	7	0	2	0	0	54
能登北部保健福祉センター	来所 実	31	1	1	8	4	1	1	2	0	2	0	0	2	2	7
	延	59	1	1	24	4	2	1	2	0	6	0	0	4	3	11
	訪問 実	12	0	0	7	3	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1
	延	44	0	0	36	4	0	0	0	0	0	0	0	2	0	2
金沢市福祉健康センター	来所 実	268	3	6	53	33	19	1	4	1	10	0	0	9	0	129
	延	450	3	6	95	47	35	1	4	1	46	0	0	10	0	202
	訪問 実	192	3	11	73	34	11	0	5	3	14	0	0	2	0	36
	延	634	3	22	331	106	16	0	7	6	62	0	0	2	0	79
保健所計	来所 実	592	10	17	104	73	37	3	9	4	28	2	4	12	70	219
	延	1,075	12	20	194	123	70	5	16	29	84	19	16	15	110	362
	訪問 実	375	11	17	127	62	22	1	6	6	25	0	1	3	27	67
	延	1,223	13	36	588	193	59	1	9	9	81	0	2	4	75	153
こころの健康センター	来所 実	315	0	7	16	39	29	0	6	2	33	5	16	1	84	77
	延	1,219	0	14	50	111	71	0	38	5	179	19	32	3	410	287
	訪問 実	4	1	0	1	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	延	18	1	0	3	9	0	0	0	0	3	0	0	0	2	0

※診断名はICD10に準ずる

※こころの健康センターの「その他」は異常なし、非定型精神病、ナルコレプシーを含む

(4) 自殺・ひきこもり区分別相談件数(再掲)

保健所	区分	自殺	ひきこもり						合計
			10代	20代	30代	40代	50代以上	不明	
南加賀保健福祉センター	電話	326	8	40	44	3	2	0	97
	来所 実	3	4	6	6	2	0	0	18
	延	4	4	16	17	3	0	0	40
	訪問 実	9	0	1	2	0	0	0	3
	延	35	0	1	3	0	0	0	4
石川中央保健福祉センター	電話	118	32	78	35	17	7	0	169
	来所 実	9	5	5	5	3	0	0	18
	延	16	5	6	23	4	0	0	38
	訪問 実	8	0	2	1	2	0	0	5
	訪問 延	14	1	26	3	2	0	0	32
能登中部保健福祉センター	電話	29	44	16	19	64	25	0	168
	来所 実	4	3	3	3	4	3	0	16
	延	7	3	20	9	15	4	0	51
	訪問 実	1	8	0	1	1	3	0	13
	訪問 延	1	21	0	3	13	15	0	52
能登北部保健福祉センター	電話	16	8	1	5	1	2	0	17
	来所 実	2	1	3	3	1	0	0	8
	延	2	1	5	4	1	0	0	11
	訪問 実	1	0	0	0	0	1	0	1
	訪問 延	1	0	0	0	0	1	0	1
金沢市福祉健康センター	電話	135	36	61	38	19	46	0	200
	来所 実	2	8	8	8	8	5	0	37
	延	2	11	13	19	13	7	0	63
	訪問 実	9	2	2	3	4	4	0	15
	延	12	8	6	3	30	7	0	54
保健所計	電話	624	128	196	141	104	82	0	651
	来所 実	20	21	25	25	18	8	0	97
	延	31	24	60	72	36	11	0	203
	訪問 実	28	10	5	7	7	8	0	37
	延	63	30	33	12	45	23	0	143
こころの健康センター	電話	121	16	38	144	14	6	14	232
	来所 実	20	4	58	33	3	1	0	99
	延	56	39	264	209	18	1	0	531
	訪問 実	0	0	0	0	0	0	0	0
	延	0	0	1	0	0	0	0	1

2 普及啓発活動

保健所	区分	講演会				ゲートキーパー養成等事業及び若い世代の心の健康作り事業			
	内容	回数	人数	主なテーマ	対象	回数	人数	内容	対象
南加賀保健福祉センター		1	39	第2回自殺防止対策地域連絡会及び研修会	行政、医療、福祉機関、各種団体	1	70	衛生管理者への健康教育	衛生管理者、衛生管理担当者
						1	3	若い世代向けゲートキーパー養成研修	看護学生(金大)
						1	4	若い世代向けゲートキーパー養成研修	看護学生(金大)
						1	4	若い世代向けゲートキーパー養成研修	看護学生(金沢医科大学)
						1	49	若い世代向けゲートキーパー養成研修	看護学生(小松看護学校)
石川中央保健福祉センター						1	20	ゲートキーパー講座	サンコー企画(株)社員
						1	34	ゲートキーパー講座	県立看護大実習生
						1	2	ゲートキーパー講座	金大、医科大実習生
						1	27	ゲートキーパー講座	金大、医科大実習生
						1	2	ゲートキーパー講座	仁愛大実習生
						1	2	ゲートキーパー講座	医科大実習生
						1	138	ゲートキーパー講座	県立大学生
能登中部保健福祉センター						1	19	メンタルヘルス研修(内容にGPを含む)	丸井織物(株)若年層社員
						1	69	ゲートキーパー養成研修	宝達志水町健康づくり推進員
						1	36	精神保健の授業において(GPになろう)	七尾看護学校2年生
能登北部保健福祉センター		1	39	講義「生活基盤の確保と法的手続きについて」 講師 輪島市ひまわり基金法律事務所 石井翔大 弁護士	医療機関(救急告示病院又は精神科を標榜する)、消防署、警察署、市町自殺対策担当課、市町地域包括支援センター、奥能登教育事務所、市町教育委員会、学校保健会、高等学校、労働基準監督署、ハローワーク、市町社会福祉協議会、生活困窮者支援窓口	1	18	ゲートキーパー養成講座	穴水町介護支援専門員
金沢市福祉健康センター						1	54	こころの健康づくり研修会	押野地区住民
						1	39	こころの健康づくり研修会	長坂台地区住民
						1	70	こころの健康づくり研修会	三和地区住民
						1	44	こころの健康づくり研修会	鞍月地区住民
						1	140	不登校・ひきこもり講演会/交流会	本人・家族・市民活動団体
						1	19	メンタルヘルス講座(ゲートキーパー研修含む)	図書館職員
						1	54	ゲートキーパー研修	地区住民
						1	9	こころの健康(ゲートキーパー研修含む)	福祉喫茶職員及び利用者
						1	32	心の健康について(ゲートキーパー研修含む)	地区住民
						1	5	ゲートキーパー研修	大学生
						1	24	こころの健康づくり(ゲートキーパー研修含む)	事業所職員
						1	13	こころの健康づくり(ゲートキーパー研修含む)	地区住民
						1	14	こころの健康づくり(ゲートキーパー研修含む)	地区住民
						1	39	ゲートキーパー研修	地区住民
						1	29	ゲートキーパー研修	地区住民
						1	29	ゲートキーパー研修	地区住民
						1	46	ゲートキーパー研修	大学生
						1	54	メンタルヘルス研修(ゲートキーパー研修含む)	金沢市職員
						1	70	ゲートキーパー研修	地区住民
						1	44	ゲートキーパー研修	地区住民
1	30	こころの健康づくり講座(ゲートキーパー研修含む)	事業所職員						
1	33	ゲートキーパー研修	金沢市職員						
1	12	こころの健康づくり講座(ゲートキーパー研修含む)	国職員						
1	19	ゲートキーパー研修会	看護学生						
1	19	ゲートキーパー研修会	看護学生						
1	3	ゲートキーパー研修会	中学生						
1	16	こころの健康づくり研修会	地域住民						
1	5	ゲートキーパー研修会	看護学生						
1	17	いきいき健康づくり教室	地区住民						
1	50	こころの健康づくり	市職員						
1	25	メンタルヘルスボランティア	ボランティア 大学校受講者						

保健所	自殺予防普及啓発事業(街頭キャンペーン、ラジオ、広報等)	
	回数	人数
南加賀保健福祉センター	5	43 街頭キャンペーン
石川中央保健福祉センター	5	22 街頭キャンペーン
	1	(FMN1出演)こころの健康について
	1	(FMN1出演)ストレスとメンタルヘルスについて
能登中部保健福祉センター	3	17 街頭キャンペーン
	2	自殺予防週間について(ラジオ) 自殺対策強化月間について(ラジオ)
能登北部保健福祉センター	2	14 街頭キャンペーン
		能登北部保健福祉センターのホームページに自殺予防週間の周知及びゲートキーパーについての内容を掲載
石川中央保健福祉センター	3	6 街頭キャンペーン
	2	自殺対策強化月間(Facebook)
	1	自殺対策強化月間(ラジオ)
	2	こころの健康づくり(ラジオ)
	1	アルコール関連問題(ラジオ)

3 関係機関・団体との連携

保健所	機関名	支援内容	回数
南加賀保健福祉センター	小松市	精神障がい者等地域生活支援研究会	2
	小松市	小松市くらし安心ネットワーク協議会いのちと心の部会	3
	小松市	生活困窮者自立支援調整会議	1
	小松市	精神事例検討会	5
	加賀市	じりつ支援協議会・障がい福祉全大会	2
	加賀市	地域移行支援に係る会議	3
	加賀市	加賀市庁内外自殺対策連絡会	1
	加賀市	精神事例検討会	1
	能美市	能美市自殺防止対策連絡協議会	1
	能美市	能美市虐待防止協議会DV対策部会	1
	小松・能美メンタルヘルスボランティア友の会	行事等へのサポート	5
	こころのどあ加賀	運営の協力	3
AA加賀グループ	運営の協力	12	
石川中央保健福祉センター	白山市	共生の街づくり推進協議会 全体会	1
	白山市	共生の街づくり推進協議会 すまい部会・宅建協会との情報交換会	4
	白山市	障害者差別解消のまちづくり支援協議会	2
	白山市	地域移行・地域定着支援会議	3
	白山市	ケア会議	7
	白山市	自殺対策計画策定のための情報提供・助言	5
	白山市	健康づくり推進協議会(自殺対策計画策定含む)	3
	野々市市	障害者自立支援協議会	1
	野々市市	虐待防止等協議会	1
	野々市市	虐待防止等協議会 障害者虐待防止部会	1
	野々市市	障害者基本計画等策定委員会	2
	野々市市	自殺対策協議会	2
	野々市市	自殺対策計画策定のための情報提供・助言	5
	野々市市	ケア会議	6
	かほく市	地域自立支援協議会 全体会	2
	かほく市	地域自立支援協議会 運営協議会	2
	かほく市	地域包括ケアシステムの学習・準備会	4
	かほく市	高齢者及び障害者虐待防止協議会	2
	かほく市	自殺対策計画策定委員会	3
	かほく市	自殺対策計画策定のための情報提供・助言	15
	津幡町	自立支援協議会 運営会議(自殺対策計画策定含む)	3
	津幡町	自立支援協議会 全体会	3
	津幡町	自殺対策計画策定のための情報提供・助言	12
	内灘町	自立支援協議会 全体会	1
	内灘町	自殺対策計画策定委員会	3
	内灘町	自殺対策計画策定のための情報提供・助言	8
	高松病院	アルコール関連問題地域連絡会	1
	金沢保護観察所	ケア会議	9
	金沢保護観察所	石川県医療観察制度運営連絡協議会	1
	家族会(ちよに会)	総会・役員会	7
	家族会(石家連)	総会・精神障害者家族会と病院長等との懇談会	2
	病院	ケア会議	23
	社会福祉協議会	ケア会議	1
相談支援事業所	ケア会議	10	
その他関係機関	ケア会議	2	
公立松任石川中央病院	自傷行為・自殺未遂者支援のための連携事業についての連絡会	1	
松原病院・城北病院	MJカンファレンス	4	

保健所	機関名	支援内容	回数	
能登中部保健福祉センター	七尾市・中能登町	七尾市・中能登町地域自立支援協議会	15	
	羽咋郡・市	羽咋郡市障害者自立支援協議会	6	
	金沢保護観察所	医療観察対象者のケア会議、同行訪問	12	
	七尾市	事例検討会	3	
	羽咋市	事例検討会	3	
	中能登町	事例検討会	2	
	志賀町	事例検討会	2	
	相談支援事業所	事例検討会	7	
	七尾市	同行訪問	15	
	中能登町	同行訪問	3	
	志賀町	同行訪問	2	
	宝達志水町	同行訪問	1	
	相談支援事業所	同行訪問	28	
	訪問看護	同行訪問	20	
	みそぎ会	総会、定例会	2	
	心明会	総会	1	
	能登中部圏域家族交流会	連絡会、交流会等	5	
	警察	同行訪問	2	
	公立能登総合病院	事例検討会、同行訪問	10	
	七尾松原病院	事例検討会、同行訪問	2	
	高松病院	事例検討会	5	
	学校	事例検討会	1	
	メンタルヘルスボランティア	花の会(総会、定例会等)	6	
	フルリアル石川	不登校親の会立ち上げに関する相談等	8	
	能登北部保健福祉センター	奥能登地域自立支援協議会	全体会	2
		奥能登地域自立支援協議会	専門部会「啓発部会 研修分会」	7
輪島市		奥能登地域自立支援協議会 輪島市連絡会	2	
		輪島市自殺対策推進会議	2	
		ケース会議	3	
		同行訪問	25	
珠洲市		奥能登地域自立支援協議会 珠洲市連絡会	3	
		同行訪問	2	
穴水町		奥能登地域自立支援協議会 穴水町連絡会	3	
		穴水町自殺対策計画策定委員会	3	
		同行訪問	1	
能登町		奥能登地域自立支援協議会 能登町連絡会	3	
		能登町自殺対策推進連絡会	1	
		ケース会議	2	
		同行訪問	1	
輪島市社会福祉協議会		同行訪問	1	
県立高松病院		ケア会議	1	
七尾松原病院		ケア会議	2	
公立能登総合病院		ケア会議	5	
相談支援ピアサポート北のと	ケア会議	4		
相談支援キララ	ケア会議	1		
相談支援事業所	同行訪問	2		
金沢市福祉健康センター	医療機関	措置入院患者の地域生活に向けての連携会議	12	
	医療機関	退院後支援に関する実務者会議	1	
	金沢市役所相談窓口担当課	自殺防止対策庁内相談担当者連絡会	1	
	障害者基幹相談支援センター	自立支援協議会事務局会議	1	
	石川県	DV対策支援等連絡協議会	1	
	医療、福祉、自治体等	精神障害者地域生活支援事業連絡会	2	
	保健所、福祉等	精神障害者地域生活支援事業連絡会の企画会	2	
	石川県	地域生活支援事業に関する打ち合わせ会	2	
	石川県	退院後支援に関する連絡会	2	
	石川県	精神保健福祉事業担当者連絡会	1	
	石川県	自殺対策担当者連絡会	1	
	医療、福祉、自治体等	地域生活支援連携会議	1	
	石川県	地域包括ケアシステムの構築における連絡会	1	
	医療機関	自殺未遂者支援体制における病院との連絡会	2	
	医療、福祉、保健所等	精神障害者の地域生活支援を推進するための意見交換会	1	
	家族会、医療、保健所等	精神障害者家族会と病院長との懇談会	1	
	医療機関、保護観察所等	ケース会議	99	
	医療機関等	事例検討会	3	
	ボランティアグループ等	ボランティア育成支援、情報提供、連携体制構築	30	
	ハローワーク	金沢障害者雇用連絡会議	1	
	金沢工業大学	自殺防止対策事業に関する意見交換	1	
	金沢保護観察所	石川県医療観察制度運営連絡協議会	1	
地域活動支援センター等	連携体制の構築	2		
家族会等	総会・定例会にて正しい知識の普及と健康管理支援 組織育成	10		

4 集団活動

(1) 当事者活動

保健所名	回数	実人数	延人数	内 容
南加賀保健福祉センター	12	8	11	ひきこもり社会参加復帰事業(社会復帰支援教室)
石川中央保健福祉センター				
能登中部保健福祉センター	12	3	22	
能登北部保健福祉センター	12	1	12	
金沢市福祉健康センター				

(2) 家族教室

保健所名	回数	実人数	延人数	内 容
南加賀保健福祉センター	2	19	19	ひきこもり家族教室
	1	16	6	うつ病家族教室
	1		10	アルコール依存症家族教室
石川中央保健福祉センター	2	28	28	うつ病家族教室
	1	8	8	アルコール依存症家族教室
	17	26	52	ひきこもり家族教室
能登中部保健福祉センター	12	0	0	ひきこもり家族交流会
	2	6	6	ひきこもり家族教室
	2	8	8	家族交流会
能登北部保健福祉センター	1	2	2	うつ病家族教室
	2	38	38	ひきこもり家族教室
金沢市福祉健康センター				

※メンタルヘルス講座は削除

5 こころの健康センター貸出しビデオ・DVD一覧

(ビデオテープ (VHS方式)・DVD含む)

(平成31年3月現在)

分類	番号	題名	上映時間	対象者	ビデオ DVD	内 容
児 童	2101	SOSからの笑顔へ ～いじめ登校拒否から自立を待つ～	60分	小・中 高・一	ビデオ	登校拒否の生徒を立ち直らせた事例の紹介
	2102 ～ 2106	子育てたまご (1) ～ (5)	各 60	一般	ビデオ	0歳～小学生の子供について、親子・育児・あそび・食事などテーマ別に描いた家庭教育ビデオ
	2107	よい子のため息S・O・S	30	母親	ビデオ	子どものため息をついでいる。(悩んでいる)
	2108	いじめ	30	中高生	ビデオ	先生は動いてくれなかった。先生は信じてくれない。仲間はずれが一番つらい。
	2109	あなたの心、元気ですか！	20	一般	ビデオ	高校生及び、心の病を理解し、どのように対処するか の工夫を考え、学ぶことを目的としたビデオ。
	2110	夢はお母さんと二人つきり	32	母親	ビデオ	幼児は、妹や弟が出来ると母親を独占したいと思 うようになる。
	2111	子育てに自信をなくしているあなたへ	15	育児者	ビデオ	育児の悩みの解消策について。
	2112	子ども虐待防止対策ビデオ 「MCGとは何か」	15	母親	ビデオ	MCGとは東京都世田谷区の取り組みで、母と子の関係 を考える会(グループミーティング)のこと
	2113	障害のある子ども達に読書の楽しみを マルチメディア DAISY 書籍 CD 1	284	児童	DVD	「ゴーゴーもるもくん」「恐竜あいうえお」「まちをつ くるじどうしゃ」他5編
	2114	障害のある子ども達に読書の楽しみを マルチメディア DAISY 書籍 CD 3	336	児童	DVD	日本の昔話17編、他2編
	2115	「交通事故で家族を亡くした子どもの 支援」に関するシンポジウム基調講演 子どもと死 ―その理解と支援―	52	一般	DVD	制作・著作：内閣府 講師：武蔵野大学人間科学部 教授 藤村和美
こ こ ろ の 健 康	2201	職場ストレスと健康 第1集 ストレスとは	16	一般	ビデオ	ストレスとは、人間の心と体に対して外部からの 社会的・精神的・肉体的刺激が加わり、心身にマイ ナスが生じた状態。
	2202	職場ストレスと健康 第2集 職場ストレス	18	一般	ビデオ	複雑な人間関係や過剰な残業により、神経症やうつ状 態に陥る人が増えた。
	2203	職場ストレスと健康 第3集 職場ストレスと健康防衛	19	一般	ビデオ	ストレス症候群に対するには、ストレスの防衛を考 える。
	2204	小比木敬吾による症例分析	30	一般	ビデオ	慶應義塾大学医学部精神神経科助教授、小比木敬 吾氏の講演。(メンタルヘルスを各職場、企業の中 で実践する方法について)
	2205	セルフコントロール医学への道	58	一般	ビデオ	東大医学部分院心療内科長、石川・中氏の講演。(患 者自身が、病理について熟知し、自分で自分の心身を セルフコントロール出来るようにする)
	2206	うつの時代	30	一般	ビデオ	日本精神病院協会会長、斉藤茂太氏のうつに関する講 演会。
	2208	現代人のメンタルヘルス (心の病気)	29	一般	ビデオ	神経症・心身症・精神分裂病・うつ病・そう病・ アルコール依存症などが一般的。
	2209	管理・監督者のための ストレスマネジメント	40	管理者	ビデオ	管理者として部下のストレス対策は、どうあるべき か。
	2210	中・高年期の精神保健	23	一般	ビデオ	65歳以上の老人の2割程度が、何らかの心の病気を 持っている。老人の心の病気を説明。
	2211	その場でできるやさしい疲労回復法健康 ストレッチング	20	一般	ビデオ	デスクワークの人達のために、ストレッチングを 中心として様々な疲労回復方法を教示する。
	2212	災害と心のケア	42	一般	ビデオ	災害等の非常時に遭遇した時に、心的障害に対し てどのように対処すべきか。
2213	開く-かける-つなぐ～精神保健ボラン ティア～いっしょにいこうよ～	39	一般	ビデオ	いろいろな精神保健ボランティアを紹介すると共 にその大切さを訴える。	

分類	番号	題名	上映時間	対象者	ビデオ DVD	内 容
こころの健康	2214	開く-かける-つなぐ ～精神保健ボランティアもっとちかくに～	43	一般	ビデオ	作業所等にボランティアが集う。
	2215	おかえり	99	一般	ビデオ	新婚の妻が幻覚妄想状態になったが、治療を拒む妻の要求を受け入れた夫が一晩の入院で退院させることになる映画。
	2216	小さなほほえみのために～乳幼児突然死症候群 SIDS から赤ちゃんを守る～	5分	一般	ビデオ	2千人に1人の割合で死亡者が発生。眠っている間に死ぬ。1歳未満の赤ちゃん。
	2217-1	企業戦士のメンタルヘルス ①五月病症候群	20	一般	ビデオ	五月病は学生は受験後、新社会人は社内研修が終わった後等次の環境にうまく順応出来ない人(まじめな人、過保護の人、交際相手の少ない人等)が危ない。
	2217-2	企業戦士のメンタルヘルス ②入社拒否症候群	20	一般	ビデオ	ア心身症イ軽症うつ症ウ無気力症エずる休み型に分類され、ア及びイのタイプが断然多い。
	2217-3	企業戦士のメンタルヘルス ③燃えつき症候群	20	一般	ビデオ	無気力になる。仕事熱心、有能な人、几帳面な人、ゆとりや融通性に欠ける人が危ない。
	2217-4	企業戦士のメンタルヘルス ④帰宅恐怖症候群	16	一般	ビデオ	家へ帰りたくても、家庭に父親の存在場所が無いため帰れない。クリニックへ駆け込み寺のように駆け込んでくる。妻の言動の影響が大きい
	2217-5	企業戦士のメンタルヘルス ⑤スーパーウーマン症候群	20	一般	ビデオ	スーパーウーマン症候群とは、スーパーウーマンになろうとして起きてくるストレス精神障害①職場の第一人者②妻として充実した家庭③母親としての子育て等を望む。
	2218	根絶！夫からの暴力 あなたは悩んでいませんか？	27	一般	ビデオ	平成13年4月に配偶者からの暴力の防止及び被害者の保護に関する法律が施行された。
	2219	心だって風邪を引く ～メンタルヘルス対策を進めよう！～	41	一般	ビデオ	平成12年8月に、労働者から発表された事業場における労働者のこころの健康づくりのために指針について。
	2220	ドメスティクバイオレンス犯罪です	20	一般	ビデオ	日本各地に駆け込みシェルターがある。
	2221	再出発へのサポート ～女のスペース・駆け込みシェルターの現場から～	18	一般	ビデオ	DVから逃れてくる女性達の駆け込みシェルターの現状と問題点を描く。
	2222	米国東海岸の挑戦 前編	23	一般	ビデオ	ボストン・ケンブリッジをはじめとする米国東海岸地域におけるドメスティクの被害者へのサポート。
	2223	米国東海岸の挑戦 後編	21	一般	ビデオ	マサチューセッツ州における、加害者への対象は進んでいる。ある被害者女性へのサポート状況を紹介。
	2224	ひきこもる心と向き合うには	73	一般	ビデオ	ひきこもりの子供を持つ家族の心構えについて。
	2225	あなたの心元気ですか！	19	高校生	ビデオ	多感な時期にある高校生が心の病を理解し、どのように対処するか工夫を考える、学ぶために制作された。
	2226	ストーカー対策 女性が身を守るために	30	女性一般	ビデオ	ストーカー犯罪を中心に、女性が被害者になる犯罪事例をドラマ再現し、対策を解説。
	2227	なくせ！ストーカー！ 心の闇に潜むもの	40	女性一般	ビデオ	ドラマを用い、ストーカー犯罪をわかりやすく解説。ストーカー被害に遭わないようにし
	2228	映像版・いいかげんに生きよう	22	一般	ビデオ	摂食障害者の自助グループ NABA 活動編。
	2231	こころの傷に寄り添って	31	一般	ビデオ	災害・被害のトラウマとこころのケア
	2232	広がる子どものうつ病	40	一般	ビデオ	
	2233	自助グループ活動の進め方	30	一般	ビデオ	交通事故被害者遺族の自助グループ支援ビデオ
	2234	自殺対策マニュアル		一般	DVD	地域や職場等の現場で自殺対策に取り組む従事者のために
2235	統合失調症の人の回復力を高める ①回復力を高める接し方	95	一般	DVD	統合失調症の症状、治療、再発予防について基本的な講義	

分類	番号	題名	上映時間	対象者	ビデオDVD	内容	
こころの健康	2236	統合失調症の人の回復力を高める ②ドラマで学ぶ回復力を高める会話	85	一般	DVD	ご本人との具体的なコミュニケーションについて実際のやりかたを学ぶ	
	2237	統合失調症の人の回復力を高める ③家族の SST の進め方	45	一般	DVD	病気のご本人とのよりよいコミュニケーションについて家族が集まって考える。	
	2238	こころの病気を学ぶ授業 ～統合失調症～		一般	DVD	2008 年普及活動及び授業実施報告	
	2239	眠れなくなった父さんヒソジ	30 分	一般	DVD	うつ病の人の 94%に「睡眠障害」とあると報告されています。	
	2240	こころのサインに気づいたら ～悩んでいる人にあなたができること～	11	一般	DVD	悩んでいる人との向き合い方について。	
	2241	こころのサインに気づいたら ～悩んでいる人との向き合い方について～	172	一般	DVD	悩んでいる人との向き合い方について。	
	2242	こころのサインに気づいたら～ゲートキーパー養成研修用 DVD～	91	一般	DVD	ゲートキーパー養成研修用 DVD	
	2243	こころのサインに気づいたら～ゲートキーパー養成研修用 DVD～ (被災地対応編)	152	一般	DVD	ゲートキーパー養成研修用 DVD	
	2244	こころのサインに気づいたら～ゲートキーパー養成研修用 DVD～ (講義編・資料編)	91	一般	DVD	ゲートキーパー養成研修用 DVD	
	2245	スッキリ睡眠でイキイキと	36	一般	DVD	睡眠の基礎知識について。	
	2246	睡眠保健指導 No. 1	23	保健指導者	DVD	睡眠保健指導の意義と重要性について。	
	2247	睡眠保健指導 No. 2	25	保健指導者	DVD	睡眠保健指導の具体的な方法について。	
	2248	こころのサインに気づいたら～ゲートキーパー養成研修用 DVD～ (地域対応編・心得編)	144	一般	DVD	ゲートキーパー養成研修用 DVD	
	2249	NHK 厚生文化事業団福祉ビデオ シリーズ うつ病 第 1 巻 うつ病って何だろう	70	一般	DVD	うつ病と付き合っていくために知っておきたい大切な事柄について。	
	2250	NHK 厚生文化事業団福祉ビデオ シリーズ うつ病 第 2 巻 うつと生きる	104	一般	DVD	うつとともに生きてきたある会社員の 17 年間の葛藤の軌跡。	
	2251	NHK 厚生文化事業団福祉ビデオ シリーズ うつ病 第 3 巻 ふたたび職場へ	82	一般	DVD	神奈川県川崎市にある武田病院のリワークプログラムを紹介。	
	2252	平成 19 年度 いしかわ夢広場 3		児童	DVD	平成 19 年度に放送した「心の教育」ラジオ広報番組「いしかわ夢広場」の中から、子どもたちに親しみやすいお話を 6 編収録。	
	2253	2012 年 世界精神保健デー うつ病：世界的危機		一般	DVD		
	2254	スポーツ祭東京 2013 精神障害者 フットサル		一般	DVD	精神障害者のフットサル大会。	
	2255	石川県ゲートキーパーDVD かけがえのない命をまもるために あなたもゲートキーパー	18	一般	DVD	ゲートキーパーの役割について。	
	2256	うつ病者の社会的支援のための客観的指標・運動プログラムの開発～医療モデルからソーシャルモデルへ～	39	専門職	DVD	立教大学コミュニティ福祉研究所の研究記録。	
	2257	ひきこもりからの回復 全三巻	236	一般	DVD	「ひきこもり」の理解と回復の支援について	
	老人精神保健	2301	花いちもんめ	127	一般	ビデオ	老人性アルツハイマー型痴呆症の男性に振り回される家族と親族の苦悩を描いた映画。
		2302	ぼけのお年寄り介護	22	一般	ビデオ	高齢化社会の到来を見越し、ぼけのお年寄り介護の方法が真剣に探し求められている。
		2303	痴呆性老人の介護者のために ～心の旅路～	77	一般	ビデオ	在宅老人（一人暮らし）に対する訪問看護の仕方について。
		2304 ～ 2305	痴呆老人の介護（1）（2）	各 20	一般	ビデオ	痴呆老人の特徴（症状）とそのかわりについて解説。
		2306	痴呆性老人の在宅介護！ ～ぼけの病状に対応するために～	24	一般	ビデオ	ぼけの老人に対する在宅介護の仕方について。

分類	番号	題名	上映時間	対象者	ビデオ DVD	内 容
老人 精神 保健	2307	痴呆性老人の在宅介護！ ～ボケのお年寄りの正しい理解 のために～	25	一般	ビデオ	千葉市にある稲毛ホワイエの紹介。(週3日、 昼間の間、ボランティアの人達がボケのお年 寄りの世話をする施設)
	2308	痴呆性老人の家庭介護！！ ～痴呆の理解とサービス～	32	一般	ビデオ	痴呆とはどのようなものかを教示すると共 に、痴呆性老人の家庭介護方法を教える。
	2309	痴呆性老人の家庭介護！！ ～家庭介護の実際～	28	一般	ビデオ	家庭介護の基本的な心構えを、3人の体験者 談を参考にまとめた。
	2310	心がうごけば身体も動く(上)	23	一般	ビデオ	楽しくリハビリに取り組む老人の姿を描いたもの。 どうしても自分の足で立ってみたい！
	2311	雪見橋は行く	25	一般	ビデオ	岩手県の豪雪地帯にある二つの村の老人医療面 での画期的な成果を描いたもの。
	2312	熟年の季節	60	一般	ビデオ	
	2313	パッチンして！おばあちゃん	90分	一般	ビデオ	
	2314	もし痴呆が起きたらアルツハイマー型 老年痴呆の介護編	23	一般	ビデオ	アルツハイマー型痴呆老人に対する介護の仕方 について。
	2415	ひとりぼっちをなくそう	40	一般	ビデオ	精神障害者本人の会の紹介
	2316	おとしよりの介護「第8巻」	37	一般	ビデオ	痴呆性老人の問題行動と予防のてだてについて説明。
	2317	人は薬 痴呆性老人と介護のコツ	25	一般	ビデオ	痴呆性老人に対する介護の仕方について。
	2318	老いを楽しく美しく	25	一般	ビデオ	
	2320	2013年 世界精神保健デー 高齢者のメンタルヘルス		一般	DVD	
精 神 保 健	2401	君は空の青さを知っているか	24	一般	ビデオ	神奈川県における各作業所の取り組みを描いたもの。
	2403	150万人の訴え	29	一般	ビデオ	全国で150万人の精神障害者が、世間からの偏見と差 別で苦しんでいる。
	2404	つらい養成巴病院(釧路のロマン)	40	一般	ビデオ	ある医者が、釧路で「人間解放」「自然に帰れ」を理 念とした画期的な病院を開設した。
	2405	ひとりぼっちじゃない ～自立するファウンテンハウス～	35	一般	ビデオ	ニューヨークにある精神障害者の社会復帰施設、ニ ューヨークファウンテンハウスの紹介
	2406	僕たちのみた青い空	24	一般	ビデオ	神奈川県内の患者会「やまゆり会」の活動の様子を描 いたもの
	2407	正しい知識は回復への道	14	一般	ビデオ	統合失調症は、正しい知識があれば治る病気であ る。
	2408	ゆっくり治療し再発を防ごう	14	一般	ビデオ	統合失調症の治療と再発を防ぐ方法。
	2409	私たちは家族 ～アメリカ家族会発展の秘密～	25	一般	ビデオ	ナミ「NAMI」(日本語で言う全家連)についての発 展とその紹介
	2410	支えあうなかで ～精神障害者とその仲間たち～	35	一般	ビデオ	JHC板橋と作業所「えごのみ」の紹介。
	2411	精神障害者が受けられる税制上の 特典	11	一般	ビデオ	精神障害者には、各種税金にかかる基礎控除、非課 税減免が認められている。
	2412	今ここにいきる ～精神障害者と共に～	30	一般	ビデオ	高知県における精神保健活動の紹介。
	2413	ここにおいでよ ～精神障害者を支える地域作業所～	30	一般	ビデオ	地域作業所の紹介
2414	知っておきたい薬の知識	15	一般	ビデオ	統合の治療薬についてわかりやすく説明。	

分類	番号	題名	上映時間	対象者	ビデオ DVD	内 容
精 神 保 健	2416	サンフランシスコのハーフウェイハウス	20	一般	ビデオ	サンフランシスコで活発に活動している病院と家庭の中間にあたる施設の紹介。
	2419	全家連 30 年のあゆみ	31	一般	ビデオ	日本全家連の生い立ちから現在までの歴史。
	2420	あちこたねえ ～精神障害者の地域生活支援～	30	一般	ビデオ	新潟県のすもん村にある通所授産施設の紹介。「あちこたねえ」とはもうだいじょうぶという意味
	2430	僕たちは飛行機に乗った	41	一般	ビデオ	通所授産施設「またたびの家」のメンバーが、飛行機で沖縄旅行した記録。
	2431 ～ 2432	精神障害者ケアマネジメント 第1巻 第2巻	38 48	一般	ビデオ	精神障害者マネジメントの進め方について説明。
	2433	精神保健福祉ビデオシリーズ③精神障害者をもつ人への援助の実際	23分	一般	ビデオ	病院と患者の中間施設として諸々の施設が存在する。
	2434	精神保健福祉ビデオシリーズ④精神障害者をもつ人のケアマネジメント	21	一般	ビデオ	基本的な考え方を基に、諸々の取り組みが行われている。
	2435	精神保健福祉ビデオシリーズ⑤ノーマライゼーション	27	一般	ビデオ	精神障害者には対するノーマライゼーション社会の現実を目指す。
	2436 ～ 2437	あせらずにゆとりをもってむりしない 前編 後編	38 30	一般	ビデオ	統合失調症を中心とした精神障害の心理教育のためにつくられたビデオ。
	2438	心理 教育による精神障害者の家族支援	34	一般	ビデオ	統合失調症があり、今は両親と療養生活を送る男性を例として精神障害者の家族に対する心理教育の大切さを訴える。
	2439	統合失調症を生きる 妄想編その1 ～四六時中のぞかかれていた七年間～	32	一般	ビデオ	23歳で統合失調症を発症した女性の、七年間にわたる戦いを描いたもの。(べてるの家)
	2440	統合失調症を生きる 妄想編その2 ～ヒーローたちの戦い～	35	一般	ビデオ	20代で統合失調症を発症した男性の体験を、同じ経験を持つ仲間と語り合う様子を描いたもの。(べてるの家)
	2441	今日の精神科入院医療 ～心の病気を克服するために～	26	一般	ビデオ	18歳の大学受験生が統合失調症診断され医療保護入院となるが順調に回復し通院治療となる。精神保健福祉法と解説と一般的な治療法を紹介。
	2442	精神保健福祉ビデオシリーズ！！ 共生の時代へ第4巻ピアカウンセリング	23	一般	ビデオ	ピアカウンセリングの実際と概要。
	2443	正しく理解し回復を目指そう	20	一般	ビデオ	2407、2408、2414の改訂版
	2444	薬の作用と上手な付き合い方	20	一般	ビデオ	統合失調症があり、今は両親と療養生活を送る男性を例として精神障害者の家族に対する心理教育の大切さを訴える。
	2445	この街で自分らしく生きる	20	一般	ビデオ	体験談を交えながら、地域で暮らしていく上で活用できる社会資源について紹介。(ベテルの家)
	2446	コートに輝く笑顔と汗	35	一般	DVD	精神障害者バレーボール全国大会の様態を紹介。
	2447	ピアカウンセリングセミナー基礎編シリーズ	284	一般	DVD	ピアカウンセリングを共に学ぶ仲間づくり。
	2448	17歳のカルテ	126	一般	ビデオ	精神科入院の17歳が自分自身を取り戻す。
	2449	第1回精神障害者就業支援中央セミナー		一般	ビデオ	精神障害者雇用について
	2450	～偏見を乗り越えて～ 癒しの揺りかご精神科医療		一般	ビデオ	精神科医療について
	2453 ～ 2456	N(ネガティブ)からP(ポジティブ)へのすすめ～東尋坊からのメッセージ～(パート1～9)		一般	DVD	人生相談を受けた時に会話した内容。

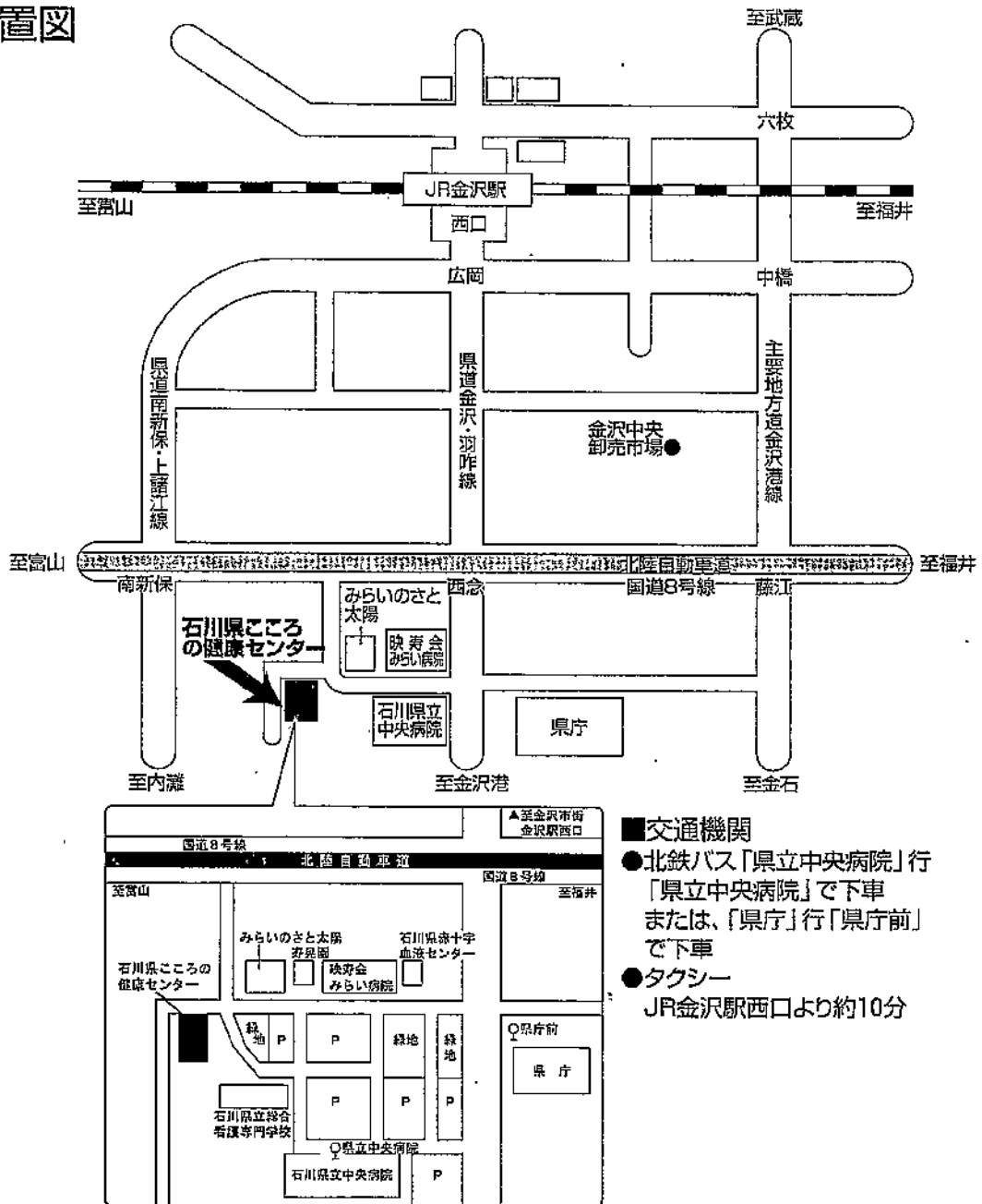
分類	番号	題名	上映時間	対象者	ビデオDVD	内容
精神保健	2457	摂食障害者の自助・ピアサポートグループ NABA 活動紹介映像 映像版「いいかげんに生きよう」	20	一般	DVD	活動内容や摂食障害を経験したメンバーのメッセージなど。
	2458	2014年 世界精神保健デー 統合失調症と共に生きる		一般	DVD	
アルコール関連	2501	アルコールの害シリーズ～酒害の予防～	26	一般	ビデオ	最近の犯罪の多くはアルコールと関連している。
	2502	アルコールの害シリーズ～10代の飲酒問題～	28	一般	ビデオ	最近の犯罪の多くはアルコールと関連している 10代の飲酒問題は極めて深刻な社会問題となっている。
	2503	アルコールの害シリーズ～アルコール依存者の家族～	14	一般	ビデオ	家族と入院患者が、ファミリーウィークに話し合いをする。(アメリカ)
	2504	アルコールの害シリーズ～女性とストレス～	21	一般	ビデオ	ある薬物、アルコール依存者の女性の事情を描く。
	2505	アルコールの害シリーズ～胎児性アルコール症候群～	10	一般	ビデオ	妊娠中の女性がアルコールを飲むと、胎児性アルコール症候群の赤ちゃんが産まれる。
	2506	アルコール依存症とは	28	一般	ビデオ	アルコール依存の症例をドキュメントタッチの再現ドラマに仕立てて解説。
	2507	アルコール依存症の心理	20	一般	ビデオ	依存症者の心理状態に迫る。
	2508	アルコール依存症～家族の心理～	23分	一般	ビデオ	依存症者を取り巻く家族の心理の変化・接し方について。
	2509	アルコール依存症～アルコール依存症から回復～	27	一般	ビデオ	スリッパ(再飲酒)の兆候・その早期発見から対応まで。
	2510	アルコール依存症～酒なし生活術～	20	一般	ビデオ	断酒に失敗しないためのノウハウをあらゆる角度から追求。
	2511	酒とバラの日々	122	一般	ビデオ	ある若い夫婦がアルコールによって、共に墜落の人生に落ち込んで行く様子を描いた映画。
	2512	老化と飲酒	26	一般	ビデオ	老人は、適正飲酒を心がけること。
	2513	アルコールと循環器	20	一般	ビデオ	アルコールは、肝臓はもとより心臓にも多大な影響を与える。
	2514	肝臓とアルコール代謝	29	一般	ビデオ	アルコールに対する肝臓の働きを解説したもの。
	2515	あと一杯が飲めるか～ソーシャルドリンカーへの手引き～	43	一般	ビデオ	日頃、適正飲酒の指導などを行っている保健師さんが、飲酒によって起こる障害を予防するにはどうしたらよいかを精神科医と内科医に教示をうけた。
	2516	酒飲み上手は生き上手	16	青少年	ビデオ	若いあなたへ、上手な飲酒のアドバイス。飲酒量の単位とは何か。肝臓の処理能力は、1単位の消化に3時間必要である。妊娠中の女性の飲酒は絶対危険。
	2517	お酒と人生～飲み方・酔い方・楽しみ方～	17	一般	ビデオ	飲酒に関して、1単位ではほろ酔いかげん・2単位では本格的な酔い、体温が上昇、脈がはやくなる・3単位ではめいてい期、気が大きくなっておこりっぽくなる。
	2518	アルコールキッド～今、お酒にはふれないで～	9	青少年	ビデオ	若年者が飲んだアルコールは脳細胞の破壊を進める。又、肝臓で分解されてアセトアルデヒドに酸化されるが、これを分解する酵素の働きが弱い。
	2519	未成年者とアルコール	23	未成年者	ビデオ	未成年者の飲酒とイッキ飲み障害の防止を訴える。
	2520	アルコール依存症～依存症の概要～	29	一般	ビデオ	酒を止められない病気である。アルコール離脱症状の出現。断酒以外に回復の道がない。
	2521	アルコール依存症～ケース事例～	35	一般	ビデオ	アルコール依存症になった人々の事例。
	2522	アルコール依存症～専門職の活動～	33	一般	ビデオ	アルコール依存症者に対する相談・援助窓口について。
	2523	お年寄りとお酒の付き合い方	28	一般	ビデオ	お年寄りがお酒を飲むときの注意点について。
	2524	お年寄りとお酒の対策～アルコール依存症は病気です～	22	老人	ビデオ	ある老人のアルコール依存症の実例。回復の方法を教示。応神のアルコール依存症は年々増えている。
	2525	もうひとつの人生(上)	45	一般	ビデオ	アルコール依存症になった人々の事例。
	2526	もうひとつの人生(下)	55	一般	ビデオ	

分類	番号	題名	上映時間	対象者	ビデオ DVD	内 容
ア ル コ ー ル 関 連	2528 ～ 2531	アルコール依存症への道 (1)～(4)	各 20	一般	ビデオ	予防編(女性むけ、一般飲酒むけ) 回復編(家族むけ、依存症本人むけ) に分けて、説明。
	2532	未成年者にアルコールなんかいらぬ	36	未成年者	ビデオ	最近、中、高校生の飲酒が急激に増加している。
	2533	アダルトチャイルド	32	一般	ビデオ	従来は、アルコール依存症の親のもとで育った人の ことを言ったが、今では広く機能不全家族のもとで 育った人のことを言う。
	2534	アルコール依存症 ～回復プロセスと再発予防～	40	一般	ビデオ	回復とはすなわち、再発を防止することでもある。
	2535	薬物依存 ～孤独そして絶望からの脱出～	29	一般	ビデオ	群馬県藤岡市上日野にある民間薬物依存者回復施 設「ダルク」についての紹介。
	2536	強迫的ギャンブル回復施設 ワンダーポート	6	一般	ビデオ	ギャンブル依存症者が共同生活をしながら回復を目指 す施設「ワンダーポート」の紹介。
	2537	未成年者のアルコール	26	一般	ビデオ	未成年者のアルコールについて
	2538	出所後の道しるべ ～薬物を使わない新た な人生に向かって～	62	一般	DVD	ダルクの紹介と出所後の流れについて。
	2539	ダメ。ゼッタイ。薬物乱用は脳を破壊する！	15	一般	DVD	薬物乱用防止の普及啓発。
	2540	“依存症”からの回復 第1巻 “依存症”とは何か	59	一般	DVD	依存症の正しい理解について。
	2541	“依存症”からの回復 第2巻 回復への道	67	一般	DVD	依存症からの回復のために必要な支援について。
	2542	“依存症”からの回復 第3巻 家族を支える	63	一般	DVD	家族が陥りがちな悪循環の構造を読み解き、回復へ の道を探る。
	2543	あなたの大切な人とお酒の関係 アルコール依存症の理解と対応	24	一般	DVD	アルコール依存症の理解とその対応について(保健所 等での相談対応の手法等)
	2544	アルコール依存症に対する家族の効果的な 対応の仕方		一般	DVD	
心 理 ・ 面 接 技 法	2601	自立訓練法の実際	30	一般	ビデオ	心身をリラックスし、調整する、セルフコントロール法の実 際を分かりやすく解説したもの。
	2602	リラクゼーションの実際	19	一般	ビデオ	筋弛緩法(生理的な緊張を解き、心理的な安静を得ようと するもの)
	2603	続リラクゼーションの実際	17	一般	ビデオ	筋弛緩法を実行してうまくいかない人のための A-B-A 方 式の解説。
	2604	箱庭療法の基礎理論	19	一般	ビデオ	砂箱と色々なミニチュアを使って行われる心理療法を解 説。
	2605	絵画療法 [1]	20	一般	ビデオ	心身症と離人症を呈した患者が、絵画療法によって立ち 直った例を、患者の方から描いたもの。
	2606	絵画療法の理論 [2]	24	一般	ビデオ	その場で描いてもらう方法と、あらかじめ描いて持ってきて もらう方法がある。
	2607	絵画療法の症例研究 [3]	32	一般	ビデオ	心身症と離人症を呈した患者が、絵画療法によって立ち 直った例を、医師の方から描いたもの。
	2609	ケースの心をとらえる面接！	23	一般	ビデオ	どのような方法で面接を行えばよいかを教示している。
	2610	ケースの心をとらえる面接！！	27	一般	ビデオ	就職を目前にした大学生に対するカウンセリングの仕方を教 示している。
	2611	ロールシャッハテスト	30	一般	ビデオ	インクのしみで出来たカードを被検者に見せ、それぞれの カードに示される様々な反応を記録、検討して被検者の 性格や人格像を見極める。

分類	番号	題名	上映時間	対象者	ビデオ DVD	内 容
心 理 ・ 面 接 技 法	2612	心理療法としての箱庭と子供への適応の方法	51	一般	ビデオ	カルフ婦人が、子供が勉強で離れた心を癒すために、箱庭療法を行いに来る。
	2613	フェイス トゥ フェイス 1巻 ～マイクロカウセリング	24	一般	ビデオ	他人とうまく付き合っていくための技法を、マイクロトレーニングという方法で教示する。
	2614	フェイス トゥ フェイス 2巻 ～積極技法ほか～	26	一般	ビデオ	いいかえと要約、感情の反映、フィードバック、積極技法。
	2615	フェイス トゥ フェイス 3巻 ～技法の統合ほか～	29	一般	ビデオ	焦点のあて方、主張、不一致と複雑なメッセージ、技法の統合。
	2616	自立生活技能(SILS)プログラム デモンストレーション編 ①モジュールの構成	24	一般	ビデオ	アメリカの精神科医師が、精神障害者の自立生活技能モジュールを開発した。
	2617	自立生活技能(SILS)プログラム デモンストレーション編 ②導入とビデオを用いた質疑応答	20	一般	ビデオ	導入・・・技能領域の学習への適切な導入のやり方を教示。ビデオを用いた質疑応答・・・ビデオを用いながら、適切に質疑応答を行う方法を教示。
	2618	自立生活技能(SILS)プログラム デモンストレーション編 ③ロールプレイ	46	一般	ビデオ	ロールプレイの適切なやり方を教示。
	2619	自立生活技能(SILS)プログラム デモンストレーション編 ④実地練習ほか	56	一般	ビデオ	日常生活の中で、実際にやること。
	2620	自立生活技能(SILS)プログラム モジュール編 ①服薬自己管理モジュール	63	一般	ビデオ	抗精神病薬について知る、正確な自己服薬と評価の仕方を知る。薬の副作用を見分ける。
	2621	自立生活技能(SILS)プログラム モジュール編 ②基本会話モジュール	42	一般	ビデオ	コミュニケーションの言語的要素と非言語的要素。
	2622	自立生活技能(SILS)プログラム モジュール編 ③病状自己管理モジュール	51	一般	ビデオ	再発の注意サインを見つける、持続症状の対処方法を学ぶ。
	2623	自立生活技能(SILS)プログラム モジュール編 ④余暇の過ごし方モジュール	23分	一般	ビデオ	レクリエーションの効果を明確にする。(ジョギング、水泳、パレーボール、映画、動物保護施設でボランティアなど)
	2624	パニックディスオーダー 6人の患者	9	一般	ビデオ	次のようなパニック障害がおきる人がいる。(突然の発症、呼吸困難、窒息感、めまい、吐き気、嘔吐など)
	2626	行動療法的家族指導(BFM) ～治療技法の実際編～	53	一般	ビデオ	BFMは精神病患者とその家族が、生活上のストレスを減らすため、自分たちの対処技能を効果的に使えるように導くものです。
	2627	こころを育むストレスマネジメント技法	40	小・中・ 高・一	ビデオ	ストレスマネジメント教育で気持ちの切り替えがうまくなる。ストレスに強くなる。
	2628	学校におけるストレスマネジメント教育	34	一般	ビデオ	学校におけるストレスマネジメント教育の可能性について探る。
	2629	生きる力を創る ～SSTの倫理と実際～	47	一般	ビデオ	SSTとは認知行動療法。(指導者が学習促進を援助する)
	2631	面接への招待 ①	59	一般	ビデオ	電話によってインテークと訪問による面接を通して、相談援助面接の一つの事例を紹介。あらゆる領域で働く対人援助職者が、応用可能である。
	2632	面接への招待 ②	60	一般	ビデオ	核心をはずさない相談援助面接の技法を紹介する。
	2633	ひきこもり完全脱出マニュアル 第1講 初級入門編 こうすれば子どもと対話ができる。	60	一般	ビデオ	ひきこもりに対応するには、親と子の意思疎通が重要である。対等の関係を保つ。

分類	番号	題 名	上映時間	対象者	ビデオ DVD	内 容
心 理 ・ 面 接 技 法	2634	ひきこもり完全脱出マニュアル 第2講 ケーススタディ編 不登校とひきこもり	60	一般	ビデオ	ドラマ仕立てで事例を再現し、不登校状態をひきこもり状態へと深刻化させず、脱却させるための、家族、教師の心構えを解説。
	2635	ひきこもり完全脱出マニュアル 第3講 思春期対応編 精神的症状とひきこもり	45	一般	DVD	強迫性障害のお子さんを抱えた家族を事例に、ひきこもりに多い各種精神症状とその対応について、再現ドラマをもちこみながら斉藤環氏が解説。
	2636	ひきこもり ① ひきこもりに対する正しい理解	7	一般	DVD	2003年から2004年にかけてNHKで放送された『ひきこもりサポートキャンペーン』の内容をもとに制作されたビデオ。
	2637	ひきこもり ② 支援の実践にあたって	43	一般	DVD	
	2638	ひきこもり ③ 検証・支援現場～民間編～	39	一般	DVD	2003年から2004年にかけてNHKで放送された『ひきこもりサポートキャンペーン』の内容をもとに制作されたビデオ。
	2639	ひきこもり ④ 検証、支援現場～公的機関編～	35	一般	DVD	
	2640	実録・家族療法 1巻 「心理教育アプローチ」に基づく家族面接	61	一般	DVD	3人のセラピストによる家族面接ドキュメント
	2641	実録・家族療法 2巻 「力動的精神療法」に基づく家族面接	68	一般	DVD	
	2642	実録・家族療法 3巻 「システムアプローチ」に基づく	872	一般	DVD	
	2643	実録・家族療法 オリエンテーション編		一般	DVD	
2644	認知行動療法 ベてる式	95	一般	DVD	べてるの家の幅広い活動を(認知行動療法)という視点から切り取って紹介。	

位置図



- 交通機関**
- 北鉄バス「県立中央病院」行
「県立中央病院」で下車
または、「県庁」行「県庁前」
で下車
 - タクシー
JR金沢駅西口より約10分

石川県こころの健康センター所報 第41号

令和元年 11月発行

石川県こころの健康センター
〒920-8201 金沢市鞍月東2丁目6番地
電話 (076) 238-5761
FAX (076) 238-5762

● ホームページ

<http://www.pref.ishikawa.lg.jp/fukusi/kokoro-home/kokoro/top.html> (こころの健康センター)
<http://www.pref.ishikawa.lg.jp/fukusi/kokoro-home/hattatu/top.html> (発達障害支援センター)